

平成27年度 社会福祉法人 上田市社会福祉協議会事業報告書

自 平成27年4月 1日

至 平成28年3月31日

1 法人運営事業

(1) 法人運営事業

ア 理事会、評議員会

理 事 会	第 39 回 27.5.27	・平成26年度事業報告及び一般会計・公益事業特別会計決算について ・平成27年度社会福祉事業第1次補正予算について
	第 40 回 27.9.4	・平成27年度社会福祉事業第2次補正予算について
	第 41 回 28.1.18	・平成27年度社会福祉事業第3次補正予算について ・任期満了に伴う評議員の選出について
	第 42 回 28.3.29	・平成27年度社会福祉事業第4次補正予算について ・任期満了に伴う評議員の選任について ・平成28年度事業計画及び社会福祉事業予算について
評議員会	第 24 回 27.5.27	・平成26年度事業報告及び一般会計・公益事業特別会計決算について ・平成27年度社会福祉事業第1次補正予算について
	第 25 回 28.3.29	・平成27年度社会福祉事業第2次、第3次補正予算について ・平成27年度社会福祉事業第4次補正予算について ・任期満了に伴う理事・監事の選出について ・平成28年度事業計画及び社会福祉事業予算について

イ 会 議 信州上田医療センター地域医療諮問委員会、県長寿社会開発センター
上小支部運営委員会、監査、正副会長会、市町村事務局長会議、民生委員・
児童委員協議会役員会及び地区定例会、地区社協正副会長会議、介護
保険関係会議 他

ウ ブロック会議 上小ブロック社協連絡会議、第39回信州発ボランティア・地域活動フ
ォーラム、上小ブロック社協職員研修会 他

エ 研 修 会 市町村社協役職員研修会、人権を考える市民の集い、地域福祉推進リ
ーダー推進事業会議、社協経理研修会、日常生活自立支援事業専門員・
支援員研修会、日常生活自立支援事業推進会議、上小圏域介護保険事業
者連絡協議会、介護支援専門員研修会、苦情対応システム研修会 他

オ 職員研修 ビジネスマナー研修会、新人職員研修会、正規職員研修会、臨時・嘱託・パート職員研修会、介護・包括関係者職員研修会、勤続10年以上の職員研修会、上田市社協職員経理研修会、マイナンバー制度研修

職員有資格者数

資格の種類	人数
社会福祉士	23人
介護福祉士	31人
主任介護支援専門員・介護支援専門員	28人
保健師・看護師	12人
教諭・保育士	64人

カ 視 察 等 三重県伊賀市社会福祉協議会へ視察訪問
平成27年11月11日(水)、12日(木)

キ 大 会

(ア) 上田市社会福祉大会

10月2日(金) サントミュージゼ大ホール 参加者 約1,400人
内 容 ○式典…表彰者 22人、5団体・感謝状 1人、2団体
○講 話「真田一族について」
講 師 益子 輝之 氏 (郷土史研究家)
○講 演「ピンチをチャンスに」
講 師 東国原 英夫 氏 (元宮崎県知事)

(イ) 長野県社会福祉大会

9月9日(水) 須坂市文化会館メセナホール(須坂市墨坂南4-5-1)
上田市から36人参加
内 容 ○大会式典、表彰、共同募金に対する謝辞、実践報告
表彰者(上田市のみ)
長野県社会福祉協議会会長表彰
(ボランティア団体表彰): DAISY上田、たまた箱
永年勤続者感謝: 土屋信子、丸山睦美
感謝
募金ボランティア: 豊殿地区循環バス運営委員会
○講演 『生きる勇気をありがとう!』
講師 清水 哲 氏 (元野球選手・身体に麻痺)

ク 社協会費

全市民の会員会費制による社協会費は貴重な財源であり、広く地域福祉活動に活用した。

会費種類	27年度社協会費納入実績		26年度 納入実績	25年度 納入実績
	金額	備考	金額	金額
普通会費	23,494,697円	44,532世帯	23,448,165円	23,322,230円
特別会費	2,217,000円	2,175人	2,348,000円	2,565,000円
法人会費	2,246,568円	299法人	2,147,000円	1,877,000円
団体会費	156,000円	84団体	122,000円	141,000円
合計	28,114,265円	44,533世帯	28,065,165円	27,905,230円

ケ 地域福祉経営委員会の開催

- ・会長諮問に対して委員会を設置

第1回委員会	開催日	1月18日(月)	場所	ささや
第2回委員会	開催日	2月4日(木)	場所	上田市ふれあい福祉センター
第3回委員会	開催日	2月19日(金)	場所	上田市ふれあい福祉センター

- ・第3回委員会で会長へ答申

コ 苦情解決第三者委員会

(ア) 委員会

開催日 6月24日(水) 上田市ふれあい福祉センター役員室

苦情件数 13件

(イ) 平成27年度苦情対応システム研修会

開催日 11月13日(金) 東御市文化会館 第三者委員及び職員 27人参加

サ 社協出前講座

自治会や団体・企業等から依頼があり、社協職員が講師として出向いた。

	回数	主催者
いきいき体操	15回	穴沢・三島平福祉会、四日市自治会、戸沢福祉委員会、上常田自治会、舞田ふれあいの会、川辺町自治会、下原福祉委員会、諏訪形自治会、下小島福祉協議会、ふれあい協議会(中之条)、学海南自治会、上沢社会福祉協議会、緑が丘西自治会、上小手話サークル、ふれあいネットワーク(真田)
エンディングノートについて	3回	長島自治会ひまわり十日会、北天いきいき会、秋和自治会
障がいを持つ人の理解と体験	1回	新田の家

日常生活自立支援事業及び “まいさぼ上田” の事業説明	1回	千曲荘病院
家庭介護のポイント	1回	中之条自治会
うさたまの出張	4回	ささらの湯温泉祭、長野プロパンガス(株) 上田支店、新田第4支部育成会、新田の家
成年後見制度について	1回	千曲荘病院
合計	25回	備考：平成26年度の依頼数は20回

2 善意銀行

個人、団体、法人等の皆さんから、金品を御寄付いただき、社会福祉活動に役立たせていただいた。

金銭寄付

月日	金額(円)	氏名	備考
4/20	83,416	二十日会	丸子地区へ
4/24	11,586	生活改善グループうえだ	
5/28	10,120	上田山草会	
6/4	10,000	のんびりカフェ	
6/11	1,509	大人の科学クラブ	
6/26	1,000	藤巻明男	
8/11	43,838	ビューティーサロンさつき	
8/18	1,000	花持人	
8/26	16,385	西塩田夏まつり実行委員会	塩田西小学校へ
9/28	20,508	丸子ゴルフ大会実行委員会	丸子地域内へ
10/7	17,369,521	匿名	
10/8	150,000	美し信州建設(株)	上田市ふれあい福祉センターへ (自動血圧計購入)
10/13	500,000	匿名	上田市高齢者福祉センターへ (冷水機、自動血圧計、プロジェクター購入費として)
11/4	8,570	上川原柳町自治会	
11/6	38,300	丸子山野草クラブ	
11/11	21,628	丸子謡曲愛好会	
11/17	100,000	東京丸子会	

11	17	10,000	学校法人上田学園上田西高等学校	
11	20	70,000	日信フェアIN上田実行委員会	
11	30	2,501	匿名	
12	1	6,276	自彊術B	
12	7	9,180	匿名	
12	8	39,000	長野県理容生活衛生同業組合 上小支部	
12	9	7,363	第十二教区曹洞宗青年会	
12	16	14,320	匿名	指定寄付 白馬村へ
12	17	191,115	ふれあい広場inさなだ実行委員会	被災地への義援金
12	18	126,000	上田市立第二中学校生徒会	指定寄付 上田市社会福祉協議会 へビーチエア購入費として
12	19	330,000	匿名	指定寄付 (一社)日本筋ジスト ロフィー協会長野県支部
12	20	35,000	匿名	
12	21	20,000	上田新参町協会	
12	22	100,000	成澤 秀敏	指定寄付 高齢者福祉センターへ
12	25	15,000	ダンスサークル MSW	丸子地域内へ
12	25	10,000	ステップアップ	丸子老人福祉センターへ
1	22	23,328	匿名	
1	22	29,320	元真田三代語り部の会 昌幸	原峠保養園へ
1	25	20,889	上田友の会	
1	26	30,000	竹の会	指定寄付 常総市へ
1	26	7,942	塩田西小学校 児童会	指定寄付 常総市へ
1	28	35,500	上田西ロータリークラブ	
1	28	60,000	インマヌエル上田キリスト教会	
2	29	42,000	第32期シニア大学OB会 かがやき会	
3	10	11,700	ことぶき大学25回生 にこにこ会	
3	28	6,547	匿名	
3	30	114,778	真田たすけあいの会	
合 計		19,755,140		

物品寄付

月 日	物 品	氏 名	備 考
4	24	未使用切手	新田長生会サロンこすもす ボランティアセンターへ

5	28	未使用切手	新田長生会サロンこすもす	ボランティアセンターへ
6	5	電動ベッド1台 ポータブルトイレ1台	鈴木秀一郎	中央デイサービスセンターへ
6	18	マッサージチェア	溝口健	武石デイサービスセンターへ
6	18	おむつ7袋	斉藤太郎	神川デイサービスセンターへ
6	22	タオル50枚 手ぬぐい20枚	浅川玲子	
6	25	未使用切手	新田長生会サロンこすもす	ボランティアセンターへ
6	26	紙おむつ9袋 尿取りバット2袋	匿名	
7	22	未使用切手	新田長生会サロンこすもす	ボランティアセンターへ
7	24	卓球台(ボール 1組、ネット1枚含)	匿名	上田市高齢者福祉センターへ
7	28	卓球台(ボール 1組、ネット1枚含)	匿名	上田市高齢者福祉センターへ
7	30	車いす1台	匿名	神川デイサービスセンターへ
7	31	扇風機1台	匿名	高齢者福祉センターへ
8	1	鮎200匹	(株)シマノ埼玉営業所	市内福祉施設へ
8	4	乳児用紙おむつ1袋	匿名	まいさぼ上田へ
8	11	ポータブルトイレ1台	神谷清子	
8	11	リハビリパンツ3袋 尿取りバット4袋	匿名	
8	17	フットバス1台 シャワーチェア1台 肌着(未使用)4枚 尿取りバット1袋	神谷清子	
8	27	未使用切手	新田長生会サロンこすもす	ボランティアセンターへ
8	31	卓球台(サポート2組、 ネット2枚含)	匿名	上田市高齢者福祉センターへ
9	11	掃除機1台 扇風機4台	匿名	上田市高齢者福祉センターへ
9	15	紙おむつ4袋 尿取りバット2袋	匿名	
9	16	車いす1台	掛川すみ	
9	30	未使用はがき 未使用切手	新田長生会サロンこすもす	ボランティアセンターへ
10	13	タオルぞうきん	神川老人クラブ連合	神川デイサービスセンターへ
10	16	布・毛糸・ベビーベッド	匿名	

10	19	絵本 51 冊	匿名	児童館、児童センター、子育てひろばへ
10	19	ポータブルトイレ	滝沢忠幸	
10	20	未使用切手 図書カード	匿名	
10	21	ポータブルトイレ	沢辺和江	
10	22	ワイシャツ 9 枚 肌着 6 枚	匿名	
10	22	紙おむつ 3 袋 尿取りバット 4 袋	匿名	
10	26	紙おむつ 7 袋 尿取りバット 4 袋	匿名	
10	27	食用油 4 個	匿名	
10	28	紙おむつ 4 袋	匿名	
10	29	未使用はがき 書き損じはがき 未使用切手	新田長生会サロンこすもす	ボランティアセンターへ
10	30	電動ベッド 電機パネルヒーター	匿名	
10	30	ドラム式洗濯乾燥機	匿名	
11	9	お米 80 kg その他真田児童館祭フ ードドライブで寄贈さ れた食糧品	NPO法人ワーカーズコープ 上田事業所	生活困窮者へ寄贈
11	11	おむつ 5 袋 尿取りバット 3 袋	曲尾	
11	12	シャワーチェア 1 台 衣類	曲尾	
11	20	タオル 39 枚	上田高等学校ボランティア同好 会	
11	26	車いす 2 台	(一財)信越郵便局長協会	ボランティアセンターへ
11	30	未使用切手	新田長生会サロンこすもす	ボランティアセンターへ
12	1	車いす 2 台	「小さな親切」運動 上田支 部	
12	8	米 30 kg	匿名	生活困窮者へ
12	10	トイレットペーパー 852 ロール	上田市立第二中学校	福祉施設へ
12	10	ケーキ 5 号引換券	匿名	
12	24	未使用切手	新田長生会サロンこすもす	ボランティアセンターへ

12	24	お米 40 kg 野菜	匿名	
12	28	電気洗濯機	匿名	
1	4	毛布 3 枚	匿名	
1	4	食用油とだし詰め合わせ	匿名	
1	5	お米 15kg 日用品 25 点	匿名	
1	8	お米 100 kg	特定非営利活動法人 やまぼうし自然学校	原峠保養園
1	28	未使用切手 書き損じはがき	新田長生会サロンこすもす	ボランティアセンターへ
2	12	タオル 110 枚	匿名	
2	18	視覚障がい体験ゴーグル	上田市丸子赤十字奉仕団・ 上田市連合婦人会(丸子)	丸子ボランティア地域活動セ ンターへ
2	19	トイレ用背もたれ付手す り	美し信州建設(株)	
2	19	タオル 52 枚	トラスコ中山(株)上田支店	
2	19	座布団 30 枚	堀内吉孝	上田市高齢者福祉センターへ
2	26	未使用切手 未使用はがき	新田長生会サロンこすもす	ボランティアセンターへ
2	26	紙おむつ 尿取りパ ット プラスチック製手袋 防水シート 衣類	匿名	
2	26	シルバーカー1台 体重計1台	神川小学校児童館 リサイクル広報委員会	
2	29	エンシュア 3 ケース	大沢勇	
2	29	車いす 1 台 紙おむつ 1 袋	匿名	
3	4	未使用はがき	匿名	
3	8	車いす 1 台	上田ライオンズクラブ	真田地区センターへ
3	14	電動ベッド 1 台 ポータブルトイレ 1 台	匿名	
3	25	紙おむつ 尿取りパット	匿名	
3	28	未使用切手 未使用はがき	新田長生会サロンこすもす	ボランティアセンターへ
合計		543,959		

金銭寄付合計

19,755,140 円

法人運営事業の評価等

社会福祉法人としての責任と役割を果たすために、理事会、評議員会での審議を経て自主性と公益性のある法人運営をした。会計では、27 年度からの新会計基準に移行し、より細密な数値管理を行った。

また、会長諮問に対して地域福祉経営委員会を設置し、資産運用、福祉推進等、事業改善に導く答申を出した。答申内容に基づき次年度事業へ反映していきたい。

地域福祉の基盤となる社協会費については、企業・団体からの新たな賛同をいただき、法人会費は増加傾向にある一方で、高齢、核家族化等の世相の反映か特別会員は年々減少傾向にある。

全ての市民、全ての世代が社協とつながっていることを、若い世代を中心に PR していきたい。

また、社会福祉大会をサントミュージーゼで開催し、市民およそ 1,400 人の参集を得た。住民一人ひとりが地域福祉を支える一員であることの意識を醸成するうえで、意義ある大会と言える。

今後、さらなる職員の資質向上をめざし、内部研修、外部研修に積極的に参加するとともに、自発的な資格取得を支援していき、職員全体の底上げに努めていきたい。

3 企画・広報事業

広報事業

ア 「社協うえだ」の発行

社協の PR として、また福祉に関する情報源として、福祉講座やイベントの開催、また各地域で行われている福祉活動の様子などを偶数月に発行し、市内全世帯をはじめ、学校関係や社協法人会員の皆さまへ毎回 58,000 部を配布しお知らせした。

イ 「社協ホームページ」の活用

広告欄への掲載を呼びかけ、新たに 5 社の増設ができた。

ウ 「うさたま着ぐるみ」の活用

・うえだ市民ふれあい広場、ふれあい広場 in さなだ、上田わっしょい、上田市社会福祉大会等において市民とふれあった。

・大河ドラマ真田丸を盛り上げるために上田市内各団体の PR キャラクターにより結成された「真田丸応援団」にうさたまが加入した。真田信繁（幸村）をモチーフにした兜を作製し、活動をしている。

エ 「上田市社協オリジナルカレンダー」の作成

うさたまをテーマにしたカレンダーを作成し、自治会をはじめ、関係機関や社協法人会員へ1,300部配布した。

オ エンディングノート「絆」の販売及びセミナーの開催

販売数	205冊
書き方セミナー	7月7日(火) 丸子ふれあいステーション 参加者 7人
	8月8日(土) 丸子ふれあいステーション 参加者 6人
	9月10日(木) 中央公民館 参加者 18人
	12月17日(木) 塩田公民館 参加者 9人

カ うさたまグッズの作成

- ・うさたまオリジナルクリアファイル2,000枚を作製し、ふれあい広場や研修会等で配布した。
- ・うさたまオリジナルうちわ300枚を作製し、上田わっしょいの際に市民に配布した。
- ・うさたまオリジナルせんべいを作製し、各地区センター窓口で販売した。

販売開始	平成28年3月15日
販売数	12枚入り(600円) 40箱
	4枚入り(270円) 12袋

企画・広報事業の評価等

社協は、地域における公益的な福祉活動を推進している組織であり、安心と信頼のブランドとして市民から信任される広報紙作りを目指している。法人運営の透明性を図るため、予算、決算、社協会費、共同募金については紙面上で報告をした。また、地域福祉の参考となるよう、特長的な取り組みをしている支部社協を取材し紹介した。ホームページでは、事業紹介やお知らせ、職員募集等タイムリーに発信した。

社協のイメージキャラクター「うさたま」は、今年度、NHK大河ドラマ「真田丸」の応援団に加わり地域のイベントに参加した。また、社協のPRと「真田丸」応援グッズを兼ね、「うさたまオリジナルせんべい」を作製し、各地区センター、高齢者センター等、社協施設の窓口で販売を開始した。

4 希望の旅事業

日ごろ外出する機会の少ない重度障がい者とその介護者が、さまざまな土地の季節や風土、伝統を肌で感じ、また多くの人々とふれあい、社会参加することで生きがいを高め、より豊かで潤いのある生活を送ることを目的に実施した。

第1回	期日	10月14日(水)、15日(木)
	場所	岐阜・富山方面(高山温泉、高山まつりの森、白川郷、新湊きつときつと市場)

参加者 19人（障がい者8人、介護者7人、同行者4人）

第2回 期日 11月5日（木）、11月6日（金）

場所 新潟方面（寺泊温泉、弥彦公園、弥彦神社）

参加者 17人（障がい者9人、介護者4人、同行者4人）

5 上田市ファミリー・サポート・センター事業(市受託事業)

上田市ファミリー・サポート・センター事業は、子育ての手助けをして欲しい人と子育てのお手伝いをしたい方が会員として登録し、子育ての相互援助を有償で行う会員組織で、日常的な子育てのお手伝いのほか、子育てに関する講習会や会員相互の交流を深めるための交流会等も開催している。

ア 会員数

依頼会員

（上田市在住又は市内に勤務している方で、概ね3ヶ月から12歳の子どもをお持ちの方）

提供会員

（上田市在住で心身ともに健康で乳幼児及び児童の保育に熱意があり、自宅で子どもを預れる方）

両方会員

（依頼・提供会員の両方出来る方）

イ 年間事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
活動回数(回)	103	61	88	94	78	74	75
活動時間(時間)	98.5	72.0	76.5	83.5	64.0	68.5	63.5
利用会員数(人)	18	15	18	20	16	18	18
	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
活動回数(回)	82	89	90	112	113	1,059	
活動時間(時間)	66.5	88.5	104.5	96.0	106.5	988.5	
利用会員数(人)	18	23	21	21	23	229	

年間事業実績推移

活動回数(回)			活動時間(時間)			利用会員数(人)		
27年度	26年度	25年度	27年度	26年度	25年度	27年度	26年度	25年度
1,059	1,145	1,254	988.5	1,050.5	918.5	229	173	175

ウ

ウ 研修会及び会員交流会の開催

(ア) 前期講習会

期 日 5月14日(木)、15日(金)、20日(水)、21日(木)

受講者 94人(延べ人数)

内 容 ファミリー・サポート・センターの説明、子どもの遊び、チャイルドシートの着用、子どもの事故と安全対策、子どもの食事・健康管理、子どもの身体の発達と病気、子どもの心の成長とその背景、保育の心・子どもの世話、特別な支援を必要としている子どもへの対応、サブリーダーとの交流

(イ) 前期全体交流会

期 日 7月4日(土)

参加者 21人

内 容 観光ボランティアガイドによる「真田丸」勉強会及び上田城跡公園散策

(ウ) 会員数の推移

後
期
講
習
会

依頼会員(人)			提供会員(人)			両方会員(人)		
27年度	26年度	25年度	27年度	26年度	25年度	27年度	26年度	25年度
404	502	494	256	217	216	64	106	120

期 日 10月15日(木)、16日(金)、21日(水)、22日(木)

受講者 80人(延べ人数)

内 容 ファミリー・サポート・センターの説明、子どもの遊び、チャイルドシートの着用、子どもの事故と安全対策、子どもの食事・健康管理、子どもの身体の発達と病気、子どもの心の成長とその背景、保育の心・子どもの世話、特別な支援を必要としている子どもへの対応、サブリーダーとの交流

(エ) 後期全体交流会

期 日 11月28日(土)

参加者 25 人

内 容 カラー新聞紙を使ったちぎり絵はがき作り

(オ) フォローアップ研修会

期 日 2月17日(水)

参加者 45 人

内 容 「発達障がい者サポーター養成講座」

(カ) 地区交流会

城下地区

期 日 8月5日(水)

参加者 13 人

内 容 大きなビスケット作り

塩田地区

期 日 3月10日(木)

参加者 10 人

内 容 いちご大福作り

中央地区

期 日 9月30日(水)

参加者 14 人

内 容 体組成測定、ウォーキング

丸子・武石地区

期 日 6月16日(火)

参加者 10 人

内 容 生キャラメル作り

神科地区

期 日 6月3日(水)

参加者 7 人

内 容 砥石城散策の予定が雨により変更。

上野が丘公民館で真田一族についての勉強

真田地区

期 日 10月28日(水)

参加者 12 人

内 容 布で作るネックレス

6 福祉推進事業

ア 地区社協住民会議

地区社協住民会議は、地域住民が主体となって様々な問題を協議し、住民が相互に地域福祉に関心と理解を深め、福祉のまちづくりを目指すために開催されるものである。

地区	期 日	場 所	内 容	参加者
東部	11月24日(火)	東部地区防災センター	講演「成年後見制度」	40人
南部	11月27日(金)	南部地区防災センター	講演「認知症を含めた介護全般」「介護と医療の連携」「地域高齢者サロン」	36人
中央	11月13日(金)	海野町会館	講演「認知症の人とその家族が地域で暮らしてゆく事」	40人
北部	11月6日(金)	魚よし	講演「成年後見制度について」	70人
西部	4月24日(金)	西部地区公民館	講演「マイナンバーについて」「介護保険制度改正と現状について」	60人
城下	10月30日(金)	城下地区防災センター	講演「認知症の人と共に安心して暮らせる地域へ」	60人
塩尻	2月25日(木)	塩尻地区公民館	講演「上田城・真田氏の歴史」	35人
川辺 泉田	7月22日(水)	川辺町会館	地区社協のあり方、支え合いマップの問題点の討議	55人
神川	10月17日(土)	神川地区公民館	講演「成年後見制度について」	100人
神科	9月5日(土)	上野が丘公民館	地域自治会福祉活動事例発表 講演「みんなちがって、みんないい」	140人
豊殿	11月8日(日)	豊殿地域自治センター	講演「地域ふれあい事業」「国の動向」「上田市社協の事業概要」	80人
塩田	11月12日(木)	塩田公民館	事例発表 講演「身近な大事と遠い大事」	140人
川西	10月22日(木)	川西公民館	講演「特殊詐欺の被害防止対策について」	47人
丸子	11月25日(水)	丸子ふれあいステーション	講演「若者の自立支援とは ～地域のあり方について～」	105人
真田	10月31日(土)	真田総合福祉センター	上田市社協の事業紹介 災害時避難所運営ゲーム「HUG」	90人
武石	11月14日(土)	武石公民館	講演「健康で笑いのある地域づくり」	54人

7 点字・声の広報発行事業(市受託事業)

市広報・議会だより、社協報の内容を点訳やテープへの録音により、視覚障がい者へ情報提供した。

ア 点字広報

広報うえだ(月2回発行)	利用者	17人
議会だより(年4回発行)	利用者	10人
社協うえだ(隔月発行)	利用者	29人
丸子自治センターだより	利用者	13人

イ 声の広報

広報うえだ(月2回発行)カセット	利用者	17人
	CD利用者	15人
議会だより(年4回発行)カセット	利用者	23人
	CD利用者	8人

8 日常生活自立支援事業(県社協受託事業)

ア 日常生活自立支援事業

上小管内を対象に、認知症の高齢者や障がい者の方々に、判断能力が十分でない方が、住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、福祉サービスの利用などに関わる相談や援助、また日常的な金銭管理のお手伝いをし、自立生活を支援した。

延べ件数の推移

イ 金銭管理・財産保全サービス

高齢者や障がい者の方々が地域で安心して日常生活を送れるように、日常的な金銭管理サービスや書類をお預かりし、生活の支援をした。

契約件数

上田地区センター	2件
丸子地区センター	6件
真田地区センター	0件
武石地区センター	1件

9 地域ふれあい事業(市補助事業)

地域のさまざまな人々がお互いに助けあい交流することにより、住民の連帯感を高めそれぞれの地域の特性に応じた福祉サービスを住民参加により自主的に推進し、明るく活力ある

内 容	27年度	26年度	25年度
認知症のお年寄りに関する相談	1,294件	588件	726件
知的に障がいのある方に関する相談	2,515件	1,056件	681件
精神に障がいのある方に関する相談	3,418件	1,252件	892件
その他（成年後見制度に関する問合わせ等）	6件	11件	57件
専門員訪問調査回数	103回	53回	53回
生活支援員援助回数	1,647回	1,239回	875回
新規契約数	25件	24件	13件
解約件数	10件	6件	14件
事業開始からの契約件数	181件	157件	133件
事業開始からの解約件数	104件	94件	88件
現在の利用者数	77件	63件	45件

福祉社会を創造し、近隣のつながりを補うことを目的として事業を実施した。

なお、この事業は、「ふれあいのまちづくり事業」として平成3年度から平成7年度までの5年間は、国の指定を受けて事業を進めました。指定終了後も、市の補助事業となり、平成15年から「敬老行事自治会委託事業」と統合され、名称が「地域ふれあい事業」となり、現在に至っている。

ア 自治会福祉活動の推進

＜上田地区センター＞活動内容

世代間交流	…… 93 自治会	調査活動	…… 1 自治会
マップ作り・更新	…… 17 自治会	広報・啓発活動	…… 12 自治会
福祉講座・健康講座	…… 54 自治会	茶話会	…… 46 自治会
会食会	…… 89 自治会	給食サービス	…… 5 自治会
交流会(児童)	…… 14 自治会	友愛訪問	…… 34 自治会
ボランティア活動	…… 3 自治会	施設視察・ボランティア	…… 7 自治会
敬老会	……131 自治会	サロン・交流	…… 44 自治会
環境整備	…… 38 自治会	その他	…… 65 自治会

＜丸子地区センター＞活動内容

世代間交流	…… 21 自治会	マップ作り・更新	…… 3 自治会
福祉講座・健康講座	…… 23 自治会	茶話会	…… 8 自治会
会食会	…… 6 自治会	給食サービス	…… 8 自治会
友愛訪問	…… 15 自治会	敬老会	…… 22 自治会
サロン・交流	…… 14 自治会	子育て支援	…… 1 自治会
環境整備	…… 13 自治会	その他	…… 14 自治会

＜真田地区センター＞活動内容

世代間交流	…… 13 自治会	マップ作り・更新	…… 2 自治会
福祉講座・健康講座	…… 36 自治会	茶話会	…… 3 自治会
会食会	…… 22 自治会	交流会(児童)	…… 8 自治会
友愛訪問	…… 19 自治会	施設訪問	…… 18 自治会
敬老会	…… 13 自治会	サロン	…… 36 自治会
子育て支援	…… 1 自治会	その他	…… 28 自治会

＜武石地区センター＞活動内容

世代間交流	…… 11 自治会	広報・啓発活動	…… 1 自治会
福祉講座・健康講座	…… 2 自治会	会食会	…… 7 自治会
交流会(児童)	…… 4 自治会	友愛訪問	…… 3 自治会

敬老会	……	1 自治会	サロン・交流	……	18 自治会
環境整備	……	10 自治会	その他	……	2 自治会

イ 住民支え合いマップづくりの取組み

住民支え合いマップは、地図上に災害時に高齢者や障がい者などで避難行動に支援が必要となる方々、いわゆる「要援護者」や、要援護者を支援する「支援者」、避難所、などの地域の資源などの情報を記載することにより、災害時に要援護者の安否確認、避難や支援を迅速に行うための手段として活用するものである。

また、住民支え合いマップの作成活動を通じて、地域内で支援を必要としている人を把握することで、日常的な地域でどんな支え合いができるかなどを考え、地域の福祉向上の視点からもその活用が期待されるものである。

平成 27 年度は、災害時要援護者登録制度に申し込みをした自治会と上田市と協働し、制度の説明会や支援班会議、更新作業を行った。今後、全自治会での住民支え合いマップ完成と新たな支え合いの仕組み作りのため、事業を展開していく。

住民支え合いマップ作成実施自治会

災害時要援護者登録制度説明会開催自治会数	6 自治会 (合計 209 自治会)
協定書締結自治会数	4 自治会 (合計 163 自治会)
住民支え合いマップ完成自治会数	13 自治会 (合計 196 自治会)

ウ 福祉推進委員

「地域ふれあい事業」の推進役として福祉推進委員を各自治会から推薦いただき社協会長が委嘱している。自治会役員、民生委員・児童委員と共に地域の実情に応じた様々な福祉活動を行っている。

- ・福祉推進委員連絡協議会 6月 19日 (金)、12月 17日 (木)
- ・福祉推進委員全体研修会 7月 6日 (月)
- ・福祉推進委員講習会 レクリエーション講座 3回
 - 7月 4日 (土) 丸子ふれあいステーション
 - 7月 15日 (水) 上田創造館
 - 8月 1日 (土) 上田市ふれあい福祉センター
- 物づくり講座 3回
 - 8月 8日 (土) 丸子ふれあいステーション
 - 8月 20日 (木) 上田創造館

10 上小圏域成年後見支援センター事業(4市町村受託事業)

平成24年4月から上田市、東御市、長和町、青木村の4市町村から委託され、上小圏域成年後見支援センターを開設した。認知症・精神障がい・知的障がいなどにより判断能力の不十分な住民が安心して地域で生活できるように成年後見制度の利用促進及び啓発を行い、成年後見制度支援体制の構築し、住民の権利擁護を推進した。

- (1) 住民、実務者等からの成年後見制度に関する相談・手続き支援及び行政職員等からの成年後見制度に関する相談・市町村長申立支援

ア 相談件数及び相談者の状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	1 新規相談	9	8	8	7	5	9	7	16	10	7	5	10	101
	2 継続相談	30	27	99	93	50	47	30	44	33	17	32	42	544
	(相談業務小計)	39	35	107	100	55	56	37	60	43	24	37	52	645
	3 (法人後見業務小計)	34	29	26	41	50	75	53	74	76	63	65	96	682
	合計	73	64	133	141	105	131	90	134	119	87	102	148	1,327
	前年度	97	78	70	68	65	69	79	77	78	106	88	136	1,011
方法別	1 来所	10	5	29	20	9	10	2	16	4	9	9	6	129
	2 電話	11	5	48	51	30	23	20	23	24	3	9	19	266
	3 訪問	16	19	20	21	11	18	12	15	13	11	14	25	195
	4 ケース会議	2	5	7	4	5	5	3	6	2	1	5	2	47
	5 その他	0	1	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	合計	39	35	107	100	55	56	37	60	43	24	37	52	645
対象者別	1 認知症高齢者	13	7	8	8	8	14	18	18	13	10	5	19	141
	2 知的障がい者	15	15	14	12	4	12	3	7	1	3	8	14	108
	3 精神障がい者	7	10	75	67	37	21	11	20	12	7	12	8	287
	4 身体障がい者	0	0	0	2	0	0	1	2	7	0	6	1	19
	5 複合	1	2	7	7	2	5	4	7	2	4	5	3	49
	6 任意後見	1	1	1	4	4	4	0	0	2	0	0	7	24
	7 その他	2	0	2	0	0	0	0	6	6	0	1	0	17
	合計	39	35	107	100	55	56	37	60	43	24	37	52	645

相談件数の推移 (単位: 件)

	新規相談	継続相談	法人後見業務	合計
27年度	101	544	682	1,327
26年度	157	564	290	1,011
25年度	172	749		921

方法別の推移 (単位: 件)

	来所	電話	訪問	ケース会議	その他	合計
27年度	129	266	195	47	8	645
26年度	159	313	186	63	0	721
25年度	185	446	227	42	21	921

対象者別の推移（単位：人）

	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	身体 障がい者	複合	任意 後見	その他
27年度	141	108	287	19	49	24	17
26年度	299	85	126	29	44	16	122
25年度	394	67	134	73	68	58	127

(2) 成年後見制度等の普及、啓発

説明会、講師依頼 9件
参加者 487人

(3) 市民後見人の養成

①市民後見人養成講座の開講

開催日 平成27年8月20日（木）から9月30日（水）
開催場所 長野大学、東御市総合福祉センター
内容 成年後見制度の基礎を学ぶ、対象者を理解する、後見人の実務を学ぶ他
参加者 22人

②法人後見支援員の活動

平成26年度に市民後見人養成講座を受講し、全過程を修了した方の中から5人を選考し、法人後見支援員として委嘱した。職員と共に被後見人等への定期訪問や状況確認、預貯金の払戻しや支払い、ケース会議等にも出席していただき、実務経験を積んでいただいた。

(4) 成年後見人等第三者後見人の紹介・支援

弁護士、司法書士、行政書士、社会福祉士 他 24件

(5) 法人後見の受任

法人後見 9件を新規に受任（累計で14件受任）

成年後見支援センター事業の評価

法人後見の受任が増え、後見人等としての業務が急増した。資力はないが、成年後見制度が必要な方が年々増加傾向にある。

また、平成26年度から行っている市民後見人養成講座の修了者から選抜した法人後見支援員が活動を開始した。法人後見支援員として実績を重ね、市民後見人として活躍できるよう体制整備を図りたい。

1 1 “まいさぼ上田” 上田生活就労支援センター事業（市受託事業）

平成 27 年 4 月から「生活困窮者自立支援法」が施行され、全国の福祉事務所設置自治体において生活困窮者に対する自立支援制度が実施された。この制度は、社会経済の構造的変化に対応し、これまで十分でなかった生活保護受給者以外の生活困窮者への支援を抜本的に強化するもので、上田市では上田市社会福祉協議会が昨年度のモデル事業に引き続き委託を受け、上田市ふれあい福祉センター内に「上田市生活就労支援センター “まいさぼ上田”」を設置し、主任相談支援員を兼ねた所長 1 人と 3 人の相談就労支援員を配置して生活困窮者に対する相談・支援を行った。

ア 相談件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
新規相談者数(人)	31	21	43	29	18	27	
実相談者数(人)	63	57	87	92	73	90	
延べ相談件数(件)	282	327	450	480	369	441	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
新規相談者数(人)	23	24	16	28	16	20	296
実相談者数(人)	73	83	86	89	82	85	960
延べ相談件数(件)	370 件	440 件	418 件	437 件	489 件	437 件	4,940 件

相談者及び相談件数の推移

新規相談者数 (人)		実相談者数 (人)		延べ相談件数 (件)	
27 年度	26 年度	27 年度	26 年度	27 年度	26 年度
296	316	960	728	4,940	3,775

“まいさぼ上田” 事業の評価等

平成 27 年度の「生活困窮者自立支援法」の施行を受け、上田市では平成 26 年度のモデル事業に引き続き“まいさぼ上田”を設置し、市内の生活困窮者に対する相談支援を行った。寄り添い型の相談を基本とし、行政やハローワークなどの窓口への同行支援や、ひきこもりや就労経験のない者、長期失業者等に対して、興味検査や履歴書の書き方指導などを行い就労に結び付くよう努めた。その結果、国からも就労者数において支援実績値の高い自治体として評価を受けている。また、新たに住居を喪失または喪失するおそれのある生活困窮者に対する住居確保給付金の相談支援を行った。

モデル事業を含む 2 年間の事業を通して、関係機関や地域に対して一定程度の周知と理解が図られたと考えているが、本来が情報弱者である生活困窮者を対象とした事業であることから、更なる周知活動への取り組みが今後も必要と考える。

これまでの相談支援事業を通して、生活困窮者に対する個別支援については一定程度の成果を上げることができたが、制度の目指すもう一方の柱である支援を通じた地域づくりについては、関係機関によるネットワークづくりの段階であり、今後も行政と協力しながら新たな社会資源の開発を行っていく必要がある。

1 2 高齢者住宅等安心確保事業(市受託事業)

この事業は、別所地区にある高齢者向け県営住宅の 16 世帯の皆さんに、生活援助員を派遣し、生活指導・相談、安否の確認、関係機関との連絡調整等を行った。

【主な活動内容】

緊急対応 3 件 お茶会 12 回開催 118 人参加
安否確認、服薬管理、ゴミ出し等の生活支援、戸締り確認を毎週月曜日から金曜日、
毎朝・毎夕

1 3 有償在宅福祉サービス事業

市内にお住まいの高齢の方や障がいのある方が日常生活において援助が必要な時、地域住民の助け合いにより住み慣れた地域で安心して暮らせるように「福祉移送サービス」や「ご用聞きサービス」を有償で提供し生活の支援を行っている。

ア 上田有償在宅福祉サービス事業（福祉移送サービス事業）

利用会員数 50 人 協力会員数 10 人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数(回)	73	86	111	112	95	96	87	90	88	83	74	94	1,089
利用会員数(人)	18	21	26	25	22	23	21	24	14	27	23	25	269
協力会員数(人)	6	5	7	6	6	7	6	7	6	6	5	5	72

上田福祉移送サービスの推移

	27年度	26年度	25年度
利用回数(回)	1,089	889	816
利用会員数(人)	269	233	234
協力会員数(人)	72	80	87

イ 丸子有償在宅福祉サービス事業（福祉移送サービス事業）

利用会員数 49人 協力会員数 10人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数(回)	62	57	50	51	63	74	80	49	82	59	69	88	784
利用会員数(人)	10	12	12	10	11	13	13	11	12	12	14	14	144
協力会員数(人)	8	6	6	5	5	5	3	3	4	4	5	4	58

丸子福祉移送サービスの推移

	27年度	26年度	25年度
利用回数(回)	784	474	539
利用会員数(人)	144	164	184
協力会員数(人)	58	104	115

ウ 真田有償在宅福祉サービス事業（福祉移送サービス事業）

利用会員数 18人 協力会員数 7人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数(回)	8	6	9	4	4	5	7	5	12	12	9	8	89
利用会員数(人)	5	4	5	1	2	2	4	3	3	4	3	2	38
協力会員数(人)	4	3	3	1	2	2	2	3	3	4	2	2	31

真田福祉移送サービスの推移

	27年度	26年度	25年度
利用回数(回)	89	289	289
利用会員数(人)	38	70	97
協力会員数(人)	31	67	71

エ ご用聞きサービス事業

上田市にお住まいの高齢者世帯及び障がい者世帯を対象に、日常生活を送る上で困っていることなどをご近所の助け合いや支えあいにより支援することを目的とした有償福祉サービスであり、平成22年2月1日から事業を開始した。現在、利用会員と協力会員とのマッチングを進め、多くの協力員の方に御協力をいただき活動を行っている。

	27年度	26年度	25年度	25年度
利用者数(人)	769	750	647	44
利用会員の登録数(人)		88		81
利用回数(件)		270		356
				56
				70
				304

【活動内容の内訳】

買物代行	29件	部屋の掃除	3件	風呂場・水周りの掃除	2件
窓ふき	1件	ゴミ出し	203件	洗濯・布団干し	1件
草取り	10件	雪かき	3件	軽微な修繕	2件
その他	16件				

有償在宅福祉サービスの評価等

高齢者や障がい者の方々の日常生活での困りごとに対して、協力員による病院の送迎、買い物、ゴミ出しなどニーズにあった対応ができた。福祉移送サービスやご用聞きサービスは、市民の協力によって成り立つ事業である。協力員のボランティア精神や支え合いの気持ちが広く地域に醸成されることが期待できる。

1 4 丸子高齢者サービスセンター事業(市受託事業)

介護認定を受けていない方を対象に、お互いに交流することにより生きがいを高め、レクリエーションや体操等、介護予防をすることを目的として実施した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数(人)	74	71	58	81	60	58	69	61	57	57	58	65	769

利用者の推移

1 5 相談事業

(1) 上田相談事業

ア 心配ごと相談

- ・相談員：1人
- ・相談日：毎週月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
- ・開設日数：243日
- ・相談件数：70件

- ・相談内容：家族のこと 他

イ 電話相談「はればれ電話」

- ・相談員：1人
- ・相談日：毎週月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
- ・開設日数：243日
- ・相談件数：151件
- ・相談内容：近所とのトラブルや苦情、生活の不安 他

ウ 法律相談（予約制）

- ・相談員：弁護士1人
- ・相談日：毎月第3土曜日 午前10時～正午
- ・開設日数：11日
- ・相談件数：51件
- ・相談内容：相続、離婚、金銭トラブル、契約、土地の境界 他

エ 結婚相談

- ・相談員：4人
- ・相談日：毎週水曜日午前10時～午後3時、毎月第2土曜日午前10時～午後3時
- ・開設日数：63日
- ・相談件数：2,978件（電話相談含む） 来所者数(延べ)989人
- ・登録者(実活動者数) 男性484人 女性206人 計690人
- ・成立組数：見合い80組 婚約8組 結婚5組

(ア) ながの結婚マッチングシステム

長野県内でマッチングシステムに登録者している男女を、インターネットで検索し紹介するシステム

上田での登録者数 男性21人 女性7人 相談来所者数(延べ)：93人

お見合い12組（お見合い場所 長野市3回 上田市2回 松本市4回 飯田市2回 東京都1回）

成婚 2組

長野県婚活スタート相談会

1月23日(日)

上田商工会議所

相談者：13組14人

信濃毎日新聞 相談員紹介編・カップル紹介編広告掲載 各1回

(イ)お見合企画

「恋の花を咲かせよう！！」

45歳までの男女を対象

9月13(日) 鹿教湯温泉 ホテルかめや

参加者 男性15人 女性4人 女性参加者不足のため中止

「クリスマス ウィンター★マジックパーティー」

45歳までの男女を対象

12月25日(金) 上田東急イン内 国際21クリスタルホール

参加者 男性15人 女性11人 カップル成立5組

(ウ) 上田市結婚支援ネットワーク実行委員会設置

委員長1人 委員2人選任

「クリスマス ウィンター★マジックパーティー」共催事業

(2) 丸子相談事業

ア 心配ごと相談

- ・相談員：1人
- ・相談日：毎週月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
- ・相談件数：5件
- ・相談内容：離婚、近隣トラブル、職場問題、借金問題、家族関係、男女関係

イ 法律相談

- ・相談員：弁護士1人 他1人
- ・相談日：2ヶ月に1回を目安に実施 午後1時30分～午後3時30分
- ・開設日数：4日
- ・相談件数：15件
- ・相談内容：財産問題、遺産相続、離婚、借金、金銭トラブル、家族問題、土地トラブル、パワーハラスメント他

ウ 結婚相談

- ・相談員：3人
- ・相談日：毎月8日 第4土曜日 午前9時～正午
- ・開設日数：23日
- ・相談件数：152件
- ・成立組数：見合い35組、婚約1組、結婚2組

(3) 真田相談事業

心配ごと相談

- ・相談員：1人
- ・相談日：毎週月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
- ・相談件数：5件
- ・相談内容：家族関係、近隣トラブル他

(4) 武石相談事業

心配ごと相談

- ・相談員：1人
- ・相談日：毎週 月曜日～金曜日 午前9時～午後4時
- ・開設日数：244日
- ・相談件数：2件
- ・相談内容：家族問題 他

16 貸付事業

低所得者、高齢者、障がい者を対象に資金の貸付と必要な援助指導を行うことにより、世帯の自立と更生に努めた。

(1) たすけあい資金

小口一時生活資金として貸し付ける社協独自の制度で、貸付限度額は5万円まで、無利子である。

たすけあい資金貸付状況

	相談件数(件)	貸付件数(件)	貸付額(円)
上田地区	60	14	635,000
丸子地区	1	1	20,000

相談事業の評価等

結婚相談では、行政や他団体との連携、協働によるイベント開催等、新たなネットワークによる事業の展開が始まった。社協の結婚相談では、安定した成婚率を保っている。また、県主導のネットワークによる「ながの結婚マッチングシステム」では初の成婚者が誕生した。

真田地区	0	0	0
武石地区	1	1	50,000
合計	61	16	705,000

(2) 生活福祉資金(県社協受託事業)

(ア) 総合支援資金

この資金は、失業等により生計の維持が困難になった世帯に対して、再就職までの生活資金として貸付けるものである。

(イ) 福祉資金

この資金は、低所得世帯等に対し自立生活を送る上で一時的に必要であると認められた場合に貸し付けるものである。

(ウ) 教育支援資金

この資金は、低所得世帯に対し高校、短大、大学、又は高等専門学校に就学するために必要な経費を対象とした貸付である。

生活福祉資金貸付状況

資金種類		相談件数	貸付件数	貸付額
総合支援資金	上田地区	75 件	3 件	974,705 円
	丸子地区	3 件	1 件	467,156 円
	真田地区	0 件	0 件	0 円
	武石地区	0 件	0 件	0 円
	合 計	78 件	4 件	1,441,861 円
福祉資金	上田地区	210 件	7 件	2,893,000 円
	丸子地区	16 件	1 件	100,000 円
	真田地区	1 件	1 件	1,320,000 円
	武石地区	1 件	1 件	100,000 円
	合 計	228 件	10 件	4,413,000 円
教育支援資金	上田地区	57 件	5 件	3,857,000 円
	丸子地区	1 件	1 件	80,000 円
	真田地区	0 件	0 件	0 円
	武石地区	0 件	0 件	0 円
	合 計	58 件	6 件	3,937,000 円
合 計		364 件	20 件	9,791,861 円

生活福祉資金貸付状況の推移

	相談件数 (件)			貸付件数 (件)			貸付額 (円)		
	27 年度	26 年度	25 年度	27 年度	26 年度	25 年度	27 年度	26 年度	25 年度
総合支援資金	78	64	87	4	0	1	1,441,861	0	152,000
福祉資金	228	210	171	10	11	8	4,413,000	796,000	1,244,000
教育支援資金	58	47	13	6	3	1	3,937,000	2,601,000	955,000
合計	364	321	271	20	14	10	9,791,861	3,397,000	2,351,000

貸付事業の評価等

たすけあい資金の貸付けの際、連帯保証人は市と連携し確認を徹底した。償還については、初回から滞納となるケースも多く、電話連絡や訪問、呼び出しによる償還指導を行った。

生活福祉資金の貸付における相談者は、複雑・多様な状況にある方が多いため関係機関と連携し相談者の生活の安定につながるよう努めた。

不動産担保型生活福祉資金の借受人に対しては、見守り訪問をするなど強化を図った。

1 7 ボランティア地域活動センター事業

この事業は地域住民のボランティア活動に関する理解と関心を深めるとともに、その育成と組織化を促進することを目的として実施した。

(1) 上田ボランティア地域活動センター事業

ア ニーズの把握

- (ア) 相談活動によるニーズの把握
- (イ) 社会福祉施設、ボランティア団体のニーズの把握
- (ウ) 企業の社会貢献に関する状況把握

イ 広報、啓発

(ア) 情報提供

啓発のためのボランティアセンターパンフレット配布、ボランティアコーナー掲示板・社協ホームページでのボランティア情報提供、「社協うえだ」へボランティア情報の掲載 年6回(2月、4月、6月、8月、10月、12月) 上田市内全戸へ配布

(イ) 新聞等報道機関の活用

信濃毎日新聞、東信ジャーナル、信州民報、週刊うえだ、上田ケーブルビジョン等

(ウ) 収集活動

整理済み古切手 78.8kg

海外支援団体(ジョイセフ・日本キリスト教海外支援協力会)及び国内NPO法人(誕生日ありがとう本部)へ送付

(エ) ボランティア保険等の普及、保険への加入促進

- ・ボランティア活動保険加入者 2,149人
- ・ボランティア活動行事用保険加入者 43件 4,232人
- ・**上田市福祉ボランティア保険掛金補助交付制度代理事務による補助** 2,013人

ウ 養成研修、組織化

(ア) 各種講座の開催

- ・楽しい子育て孫育て講座（全1回） 参加者 27人
- ・お話し相手ボランティア講座（全3回） 参加者 27人
- ・マジックバルーンアート講座（全2回） 参加者 16人
- ・点訳ボランティア養成講座（全5回） 参加者 9人
- ・ハンドマッサージボランティア養成講座（全2回） 参加者 46人
- ・モチーフ編み体験会（全2回） 参加者 24人

(イ) 上田ボランティア連絡協議会の活動支援

平成25年度から、事務局を上田ボランティア地域活動センターに設置し、事業の充実に向けて取り組んだ。

・視察研修会

9月14日（月） 長岡震災アーカイブセンター きおくみらい及びやまこし復興
交流館 おらたる視察（新潟県長岡市及び長野県山古志村）

・交流会、講演会

7月11日（土）

講演会

演 題：「時代に合ったおせっかいが日本の少子化を救う！」

講 師：ながの結婚支援センター代表 溝端 勇二 氏

交流会 「お店だし」によるグループ活動紹介

(ウ) 研修会の開催

・信州発ボランティア・地域活動フォーラム

11月14日（土）～15日（日）長野大学

一般参加者 246人

エ 社会資源活用、ネットワーク促進

(ア) うえだ市民ふれあい広場

実行委員会による事業の運営

6月26日（金） 第1回実行委員会

7月30日（木） 第2回実行委員会

9月18日（金） 第3回実行委員会

10月3日（土） 第37回うえだ市民ふれあい広場開催 場所 上田創造館

10月30日（金） 第4回実行委員会

実行委員 38団体 約380人 小中高生ボランティア 33人

来場者 約3,500人

(イ) ひざ掛の配布

制 作 モチーフの会

対象者：高齢者及び重度障がい者

配布地区 本年度はモチーフの数がそろわず配布なし

(配布地区は上田地区内を毎年順番に回している)

オ 福祉教育の推進

(ア) 社会福祉普及校の指定

内 容：児童・生徒が体験を通じて、社会福祉の理解と関心を高め、日常生活の中に相互扶助、社会連帯の思想を浸透させることを目的に、小・中学校及び高等学校を対象に、社会福祉の普及を推進する。普及校1校に対し活動費50,000円の補助を行う。それぞれ地域の実情に合わせ、特性を生かした活動を展開した。

◇指定校：小学校16校、中学校7校、高校3校 計26校

◇社会福祉普及校連絡会議 6月2日(火)、1月26日(火)開催

(イ) 出前福祉体験事業

内 容：福祉体験を目的とした活動について、資材貸出、講師紹介及びボランティア団体との交流(点字、手話、絵手紙など)やハンディキャップ体験(車いす、アイマスク体験、高齢者擬似体験など)を学校等地域に出向いて行った。

対 象：小学校8件、中学校4件、高等学校1件、専門学校1件、PTA1件、
自治会1件 計16件 17回 対象者1,438人

(ウ) 福祉体験プログラムの展開

○夏のボランティア大作戦 (対象中学生以上)

内 容：ボランティア活動を体験することにより、生徒、学生の視点から地域の課題を見つめ、自分たちが出来ることは何かを主体的に考え活動することを目的に実施した。

・事前研修

7月25日(土) 上田市ふれあい福祉センター

事前研修

受入施設職員との打ち合わせ

参加者 147人

・施設でのボランティア体験活動

7月27日(月)～8月15日(土)の間、一人1施設で2日以上体験活動を行う。

受入先福祉施設 44施設 参加者176人

○スプリングチャレンジボランティア (対象中学生以上)

内 容：春季休暇を利用し、ボランティア活動を体験することにより学生の視点から地域の課題を見つめ、自分達に取り組めることは何かを主体的に考え活動できることを目的に実施した。

・事前研修

3月19日（土） 上田市ふれあい福祉センター

受入施設職員との打ち合わせ

参加者 149人

・施設でのボランティア体験活動

3月20日（日）～3月31日（木）の間、一人1施設で2日以上の体験活動を行う。

受入先福祉施設 51施設 参加者 153人

カ 災害時の訓練、協力

(ア) 災害救援ボランティア登録の受付

登録者総数 個人 337人 団体 18団体(407人)

(イ) 災害救援ボランティア研修会

「平成27年度 災害救援ボランティアセンター立ち上げ訓練」

8月29日（土） 雨天のため中止

ボランティアセンター受付状況

	ボランティア登録		災害救援ボランティア登録		新規ニーズ 依頼受付 (件)
	個人 (人)	団体 (団体・人)	個人 (人)	団体 (団体・人)	
4月	4	4(61)	0	0	40
5月	7	0	0	0	32
6月	7	1(6)	0	0	31
7月	4	0	0	0	33
8月	5	1(7)	0	0	43
9月	2	0	0	0	30
10月	5	2(9)	0	0	30
11月	2	0	0	0	31
12月	1	1(3)	0	0	29
1月	3	0	0	0	18
2月	12	2(17)	1	0	36
3月	9	1(10)	0	0	44
合計	61	12(113)	1	0	397
累計	1,114	235(14,674)	337	18(407)	

ボランティア活動保険加入状況

	ボランティア 活動保険(人)	ボランティア 行事用保険(人)
4月	1,331	900
5月	162	47
6月	174	214
7月	273	315
8月	30	0
9月	6	336
10月	26	1,189
11月	3	144
12月	7	759
1月	21	134
2月	17	194
3月	99	0
合計	2,149	4,232

ボランティアニーズのマッチング状況

	在 宅		施 設		その他		合 計	
	新規・継続 ニーズ (件)	ボランティア 活動者 (人)	新規・継続 ニーズ (件)	ボランティア 活動者 (人)	新規・継続 ニーズ (件)	ボランティア 活動者 (人)	新規・継続 ニーズ (件)	ボランティア 活動者 (人)
4月	13	31	108	127	22	78	143	236
5月	16	36	105	122	16	65	137	223
6月	17	38	134	152	14	36	165	226
7月	15	37	145	167	24	91	184	295
8月	15	35	144	169	21	78	180	282
9月	16	37	140	159	21	87	177	283
10月	13	33	156	178	23	76	192	287
11月	13	31	152	161	14	53	179	245
12月	11	27	146	163	16	63	173	253
1月	4	16	126	130	12	46	142	192
2月	4	14	137	150	11	45	152	214
3月	4	14	140	169	22	75	166	265
合 計	141	349	1,633	1,847	216	793	1,990	3,001

(2) 丸子ボランティア地域活動センター事業

ア ニーズの把握

- (ア) 相談活動によるニーズの把握
- (イ) 社会福祉施設、ボランティア団体のニーズの把握
- (ウ) 企業の社会貢献に関する状況把握

イ 広報、啓発

(ア) 新聞等報道機関の活用

信濃毎日新聞、信州民報、東信ジャーナル、週刊うえだ、丸子テレビ、丸子有線放送

(イ) 「鈴木クラジ文庫」による啓発 DVD、書籍などの貸出(48件 85冊)

(ウ) 収集活動

使用済み古切手 整理後、日本キリスト教海外支援協力会へ送付

(エ) ボランティア保険等の普及、加入促進

- ・ボランティア活動保険 37件 513人
- ・ボランティア活動行事保険 5件 857人
- ・上田市福祉ボランティア保険掛金補助交付制度代理事務による補助 483人

ウ 養成研修、組織化

(ア) 各種講座の開催

- ・ボランティア講座 「趣味・特技を活かそう編」

燻製にチャレンジ「中丸子やまびこ会成澤啓輔氏」参加者 8人

里山保全と銅版アート作り「箱山城桜ロードの会」参加者 8人

・フォローアップ研修

みまもり(声かけ)訪問事業フォローアップ研修

講師 上村富江氏 参加者 41人

音訳ボランティア養成講座フォローアップ研修(全2回)

講師 星野照子氏 参加者 10人

・地域づくり講座関連

平成26年度からの継続事業 丸子地域の地域づくりを考える講座を開講
全体研修 27年6月 「地域活動を計画しよう」

講師 内山二郎氏 参加者 25人 グループに分かれ活動計画を考える

その後の地域づくり講座グループ活動支援

①空き家活用グループ 27年7月 先進地視察

朝日ヶ丘ワンコインサロン 参加者 15人

②情報交換会 27年9月

空き家グループと地域サロングループとの合同研修

「中丸子親水広場やまびこハウス」にて 参加者12人

③地域サロングループ 27年10月「沢田ゆずり葉の会」立上げ

「沢田自治会そば打ち会」を開催 参加者30人

④タウンミーティング in まるこ

28年2月 「気軽に寄れる居場所づくりのために」

(県長寿社会開発センターと共同開催)

講師 内山二郎氏 (県長寿社会開発センター 理事長)

先駆的事業を行うパネリスト3名を迎え活動事例を学ぶ

旗揚げアンケートで身近な問題から見える課題の気づきを学ぶ

参加者 59人

・ボランティア講座受講後の活動支援「男性ボランティア珈琲講座」

ボランティアグループの育成と交流場所の開拓を目的として行った

「珈琲サロンさざなみ」を開催 27年7月から月1回 計9回開催

会場：丸子ボランティア地域活動センター 延べサロン参加者 445人

出張珈琲サロン12回 提供数649杯

丸子生きがいデイサービスでのボランティア現場実習受入れ

丸子珈琲倶楽部 4回 ボランティア12人 利用者35人体験

ハンドマッサージ 4回 ボランティア12人 利用者35人体験

(イ) 丸子ボランティア連絡協議会

加入団体 22 団体 加入者数（個人ボラ含） 889 人

(ウ) ボランティア育成・組織化

- ・丸子地域の中学 3 年生に向け「ポプリの受験お守り」製作

丸子中学校、丸子北中学校受験生に向けポプリのお守りを贈呈

(贈呈生徒数 193 人 製作に関わったボランティア数 5 人)

エ 社会資源活用、ネットワーク促進

○丸子ボランティア連絡協議会の活動支援

- (ア) いきいきフェスティバル 2015 (健康と福祉の祭典)

6 月 27 日 (土) わたあめ、ポップコーンづくり、会場係他で参加 30 人

- (イ) 清掃美化活動

7 月 11 日 (土) 依田川河原のアレチウリ駆除活動 参加者 59 人

- (ウ) 視察研修

7 月 24 日 (金) 参加者 16 人 松代文化財ボランティアの会との交流

- (エ) 視障協マッサージサービス

8 月 23 日 (日) 参加者 18 人 視障協会員によるマッサージサービス

- (オ) げんきまるこ産業フェスタ 2015

10 月 4 日 (土) バザー販売で参加 参加者 13 名

- (カ) 丸子災害救援ボランティア研修会

2 月 15 日 (月) テーマ「災害ボランティアについて」参加者 79 人

講師 NPO 東京いのちのポータルサイト 中橋 哲也 氏

- (キ) 丸子ボランティア連絡協議会定期交流会

12 月 5 日 (土) 参加者 108 人 団体発表と講演会

講演 NPO 法人佐久平総合リハビリセンター 中村 崇 氏

演題 「健康でいつまでもボランティアをするために」

交流会 丸子珈琲倶楽部 コレクトV 手話ダンスほほえみ

あすなる会 みまもり(声かけ)訪問事業 藤華久三社中

- (ク) 多文化共生事業「ワールドランチ交流会」

中国、ブラジル、ベトナム、タイ、日本料理 参加者 75 人

- (ケ) 丸子ボランティア連絡協議会代表者会・役員会・三役会へ参加

- (コ) 外国籍市民や母子家庭などへ支援米配布の支援

・その他活動の支援

- (ア) 丸子モチーフの会

膝掛の配布 (東内、西内、丸子第一、丸子第二地区の独居高齢者等へ 125 枚

宮城県石巻市仮設住宅 32 枚 計 157 枚配布)

(イ) E-キャップの会（やさしい帽子の会）

闘病生活を送るガン患者の方にタオルの帽子を提供

（佐久医療センター、増田医院他 個人 305 枚配布）

(ウ) 傾聴ボランティア・まるこ

傾聴の技術により話を聞いてほしい人に寄り添うボランティア活動

（個人宅、施設含め 91 件訪問）

オ 福祉教育の推進

(ア) 社会福祉普及校の指定

児童・生徒が体験をとおして、社会福祉への理解と関心を高め、日頃から助け合いの気持ちを育むことを目的として指定した。普及校 1 校に対し活動費 50,000 円までの補助を行う。（小学校 4 校、中学校 2 校、高校 1 校）

(イ) 出前福祉体験事業

内 容：学校における福祉体験を目的とした活動について援助し、講師派遣、ボランティア団体との交流（点字・手話）、車いす体験、高齢者疑似体験などを行った。

対 象：小学校 1 件、中学校 4 件、専門学校 1 校 計 6 件 対象者 280 人

(ウ) 福祉体験プログラムの展開

・サマー体験ボランティア 2015

内容：夏の長期休暇等を利用して、福祉施設やボランティア団体での体験学習をとおして今後の学校や地域社会におけるのありかたを考える事を目的とし実施した。

○事前研修会

7 月 18 日（土） 参加者 10 人

講 師 農楽人 佐納 良裕 氏

演 題 「ボランティアをはじめのまえに」

○施設、病院ボランティアおよびボランティア団体での体験

受入れ施設・団体 9 施設 参加者 32 人

ボランティアニーズ状況

	施 設		学校（保育）		その他		合 計	
	ケース （件）	ボラン ティア （人）	ケース （件）	ボラン ティア （人）	ケース （件）	ボラン ティア （人）	ケース （件）	ボラン ティア （人）
合計	15	109	6	16	20	88	41	213

その他問い合わせ状況 1,350 件（移送含む）

ボランティアセンター利用状況

	使用団体	使用人数
4月	26	183
5月	22	181
6月	20	140
7月	26	257
8月	22	191
9月	22	191
10月	26	252
11月	22	217
12月	25	255
1月	19	183
2月	24	227
3月	30	293
合計	284	2,570

(3) 真田ボランティア地域活動センター事業

ボランティア・市民・学校・行政などさまざまな団体、個人からのボランティア活動に関する相談や問い合わせがあった。

ア ニーズの把握

(ア) 社会福祉施設、ボランティア団体、NPO 法人の把握

(イ) 相談による把握

イ 広報、啓発

(ア) 啓発のためのチラシを作成し福祉体験授業に使用した。

- ・エスコートガイド（車いす、アイマスク）
- ・高齢者疑似体験のチラシとポスターを作成
- ・真田地域の福祉施設の概要説明書を作成
- ・イベントのチラシを全戸に配布

(イ) 収集活動（使用済み切手、アルミ缶、書き損じはがき、エコキャップ）にあわせて啓発をし協力した。

(ウ) 報道機関（信濃毎日新聞、週刊うえた、東信ジャーナル、有線放送）を活用しボランティア活動等を周知し参加を呼び掛けた。

(エ) 福祉用具を学校へ貸出しした。

車いす 20 台 高齢者疑似体験 3 セット（あいおい損保より借用）

アイマスク 69 枚

(オ) ボランティア保険の普及と加入促進

- ・ボランティア活動保険加入 19 団体 268 人
- ・ボランティア行事用保険加入 18 件 2,308 人
- ・福祉有償サービス傷害保険加入 10 人

ウ 養成研修・組織化

(ア) 各種講座の開催

- ・ボランティア学園 参加者 延べ人数 93 人

ボランティア活動をしたいと思っているがなかなか一歩踏み出せない。そんな方々を対象に、基礎的な知識や技能を学び、いろいろなボランティア活動があることを知ってもらう機会にさせていただくことを目的に開催した。

①5月21日(木) 開校式 オリエンテーション

「ようこそ ボランティア学園へ」

講師 上田市社会福祉協議会真田地区センター長 笠原 茂正

「地域福祉について」

「切手整理のボランティア活動と古切手を使ってのしおり作り」

②6月4日(木) 「お手玉遊び講習会」

講師 とおみお手玉の会 掛川 はつ子 氏

③6月18日(木) マジックバルーンアート

講師 青少年育成アドバイザー 小山 一正 氏

④7月2日(木) 交流分析「伝え上手 聞き上手」

講師 交流分析インストラクター 小宮山 郁子 氏

⑤7月16日(木) 高齢者疑似体験、車いす、アイマスク体験

講師 ボランティア、上田市社会福祉協議会 職員

⑥8月6日(木) 視覚障がいの理解とボランティア

講師 理学療法士 古川 正雄 氏

⑦8月20日(木) 本の読み聞かせ体験

講師 絵本のベンチ管理人、元信州放送アナウンサー

田中 明子 氏

⑧9月3日(木) ボランティア連絡協議会の活動紹介

⑨9月17日(木) 閉講式 修了証書授与式

講演 「これからボランティア活動をする方にエールを」

講師 NPO法人ほこほコネクト代表 宮下 俊哉 氏

年間通じて10回の開催だったが、毎回違うテーマで学習することが出来た。中でも車いす体験やアイマスク体験など普段できないことが体験することにより、目の不自由な方への接し方が学べた。また、ボランティア活動をしていく自信が少し沸いた。等のアンケート結果をいただいた。受講された方には、年2回の学校での福祉体験の補助をお願いした。

(イ) ボランティア連絡協議会加入者数 (団体19、施設2)

エ 社会資源活用、ネットワーク促進

(ア) サマーチャレンジボランティア、ふれあい広場、清掃ハイキングを地域の福祉施設、学校、地域住民、NPO法人と連携し開催することができた。

(イ) いきいきサロンへの協力

・講師や話の内容を説明した冊子を作成し、活用していただいた。また、講師の派遣や職員による劇を鑑賞していただき、社会福祉協議会の活動や事業を理解していただくことができた。

・戸沢自治会、真田自治会、中組自治会、中組自治会、穴沢自治会、三島平自治会、下郷沢自治会、荒井自治会、大畑自治会、下原自治会のいきいきサロンへ出向き、健康体操や手遊びをして交流することができた。

(ウ) 地域清掃ハイキングを実施した。

福祉施設、福祉団体、学校、保育園、幼稚園、ボランティア団体が参加し、真田地域の環境美化を守るため春と秋の2回行った。また、特別養護老人福祉施設で豚汁の提供を受け、参加者全員で施設内の庭をお借りして、昼食を食べながら年代を超えての交流を図ることができた。

第40回 5月30日(土) 長、傍陽、本原地域の県道・国道沿い 参加者78人

第41回 10月3日(土) 長、傍陽、本原地域の県道・国道沿い 参加者105人

(エ) 第28回ふれあい広場 in さなだへの参画

9月12日(土) 真田総合福祉センター、真田体育館(3回実行委員会開催)

地域住民総参加で、世代を超えて交流を図ることができた。また、住民からバザー用品の提供を受け、売上金の一部(191,115円)をチャイルドライン福島へ義援金として寄付することができた。

一般入場者数500人(中学生ボランティア47人)

(オ) ボランティア連絡協議会の活動支援

・役員会、代議員会への協力

・7月7日(火) 視察研修 シェア金沢

総面積約11,000坪の敷地に、高齢者・学生向け住宅、児童入所施設、天然温泉、レストラン、ライブハウス等の施設があり、地域ティコミュニティを育んでいる。人との関わりを大切に運営など住民参加で決めている。

(カ) 福祉推進委員、福祉委員合同研修にいきいきサロン等で活用していただくよう資料の提供をした。

オ 福祉教育の推進

(ア) 福祉体験学習

・4月23日(木) 菅平中学校事前研修 1年生6人が参加

真田地域の福祉施設の見学を行い、自分がボランティア活動をしたい施設を調べ

た。

- ・5月13日（水）、14日（木）菅平中学校1年生6人がボランティア体験
障がい者施設、デイサービスセンター、特別養護老人ホームで行った。

(イ) サマーチャレンジボランティア

中学生を対象に、夏休みを利用してボランティア活動を行うきっかけ作りと、地域にはどのような施設があり、活動しているのか理解し、どのようなボランティア活動ができるのか考える機会にさせていただくことを目的に実施した。

- ・7月28日（火）、29日（水）デイサービスセンター、特別養護老人福祉施設、障害者施設で体験 5人参加
- ・8月1日（土）さなだ祭りのお手伝い 6人参加
- ・7月26日（日）、7月30日（木）青パトに乗り町内をパトロール 6人参加

(ウ) 小学生の福祉体験学習（出前講座）

- ・11月17日（火）長小学校6年生、23人高齢者疑似体験
- ・11月26日（木）長小学校4年生、24人福祉体験
広沢さんのお話、アイマスク体験
- ・12月8日（火）真田中学1学年 38人車いす体験
- ・12月17日（木）真田中学1学年 38人車いす体験
- ・2月2日（火）本原小学校4年生 40人 アイマスク体験

普段何気なく歩いているところでもアイマスクを付けることによって全く違う感覚になり、目の見えない方にどのように接すればよいのかを体験することが出来た。

カ ボランティア活動状況

- ・特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、知的障がい者生活施設へ派遣
日赤奉仕団、個人ボランティア 延べ人数 156人
- ・保育園へボランティアグループの派遣 1グループ 4人 3回
- ・小学校へ福祉体験個人ボランティア派遣 4人

キ 災害ボランティア研修

- (ア) 8月29日（土）参加者数 10人

傍陽小学校にて、災害救援ボランティア立上訓練を予定していたが、大雨のため訓練自体が中止となった。集合できるボランティアの方と後片付けを行った。

(4) 武石ボランティア地域活動センター事業

ボランティア活動の推進を図るとともに、地域住民のボランティア活動に対する理解と関心を深めるため、その育成と組織化を図ることを目指した。

ア ニーズの把握

(ア) 相談活動によるニーズの把握

(イ) 社会福祉施設、ボランティア団体のニーズの把握 ニーズ件数 32

(ウ) 企業の社会貢献に関する状況把握

イ 広報、啓発

(ア) 住民参加の地域内のごみ拾いや清掃など、ボランティア活動を通し啓発を進めた。

(イ) ボランティア保険の普及、保険への加入促進

活動保険 93人(年間)

行事保険 128人(年間)

ウ 組織化

(ア) ボランティア連絡協議会加入者数

団体 12団体 240人 個人 29人

エ 社会資源活用、ネットワーク促進

(ア) 高齢者クラブ連合会女性部による高齢者福祉施設での洗濯物たたみや話し相手

5月～11月 月2回 延べ参加者 36人

(イ) 団体によるデイサービスへの訪問活動

・大正琴りんどうの会、J Aフラダンス、児童唱歌をうたう会、ハーモニカの会、
神州流光吟道会・・・各2～6回

(ウ) 個人による施設などへのボランティア活動

・サックス演奏、電子ピアノ演奏・・・各2～6回

(エ) 高齢者クラブ員による老人福祉センター庭園の樹木の剪定や草刈りを行い、施設の
景観整備に努めた。

年2回 6月、9月 延べ参加者 120人

(オ) ボランティア連絡協議会事務局

・アレチウリ駆除および交流会

演奏 丸子ハーモニカの会

実施日 6月14日(日) 参加者 34人

オ 福祉教育の推進

(ア) 福祉体験学習

・高齢者疑似体験・車いす体験依田窪南部中学校 1年生

実施日 10月28日(水) 参加者 61人、ボランティア3人

1 8 地域子育て支援拠点事業【連携型、一般型】（市受託事業）

ボランティア地域活動センター事業の評価等

各地区センターを拠点に地域の特性を活かしながらボランティアの育成や講座の開催を行った。また、それぞれの地区において学校からの要請により、障がい者理解、高齢者理解につながる福祉体験や疑似体験を行った。

丸子地域では、「新しい総合事業」に向けた取り組みの一つとしてタウンミーティングを行った。

地域での活動を支援するとともに、立ち寄りやすく、活動しやすい拠点としてボランティアセンターが活用され、支え合いの仕組みづくりに関わることができた。

今後は、上田市ボランティア地域活動センター運営委員会で協議しながら、事業の見直しや新規事業について検討していきたい。

また、各地区のボランティア連絡協議会が主体となり様々な事業を実施したが、それぞれの事業や組織に温度差があるため、各地区協議会の交流を図りながら事業の充実を図り、上田市全体でボランティアの活性化を図りたい。

「子育てひろば」は、未就園児の親子を対象に子育ての負担感の緩和を図り、安心して子育てができることを目的とした事業であり、上田市からの委託を受け、4か所の子育てひろば（連携型3か所、一般型1か所）を開設し運営している。

地域における子育て支援拠点として、親子で遊んだり、他の親子と交流したり、子育ての悩みなどを相談できる場としてサービスの提供をしており、様々な遊具や遊びの他、保護者のための講座や、親子で楽しめる遊びの講座を毎月1回以上実施した。

また、自治会内の回覧や掲示をして、子育てひろばの利用方法や毎月の講座、ひろばの様子を知らせるなど周知に努め、昨年度より全体でおよそ1,900人利用者が増加した。

子育てひろば職員スキルアップ研修会、救急法講習会、発達障がい研修会に参加し、資質の向上を図った。

今年度から、子育てひろばの祝日の代替日を設け開催日数を増やした。

会場・開設日時

会 場	開設曜日	開設時間	27年度 平均利用者 数(人)	26年度 平均利用者 数(人)	25年度 平均利用 者数(人)

大星児童センター	火・木・金	9:30～12:30	21.0	20.4	15.2
神科児童センター	火・水・木	9:30～12:30	21.4	19.7	16.1
東塩田児童センター	月・火・水	9:30～12:30	16.5	18.5	17.7
清明子育てひろば	月・水・金	9:30～14:30	18.8	18.0	14.9

子育てひろば事業の評価等

地域子育て支援拠点事業は、開館日数を153日に統一したことで、開館日が増え、利用者にとって利用し易いひろばになった。また、各ひろばの特色が出てきており、目的をもってひろばに来る親子が増えてきた。友達といっしょに遊ぶ楽しさを感じる親子、育児の話をし合う関係ができ、皆で育ちあう温かな関係が生まれてきた。安全面の見直しをした結果、次年度から親子とも上靴を持参するということが統一できた。

19 老人福祉センター事業

(1) 上田市高齢者福祉センター管理事業(市受託事業)

上田市高齢者福祉センターは、市内に在住する60歳以上の高齢者の方の生きがいと健康づくりを目的として昭和56年に開設された。平成9年4月1日からは上田市社会福祉協議会が管理運営を行っている。

2階にある展望風呂を楽しみに来館される方が多く、また貸出部屋を利用した各種同好会活動等も盛んに行われている。他にも、高齢者介護課が主催する介護予防体操や上田市視覚障害者福祉協会による針・マッサージコーナー、当館が主催する初級パソコン教室があり、大勢の方々に利用していただいている。

館内では利用者の趣味を生かした各種クラブが32クラブあり、約1,000人の会員が積極的な活動を行い、特に高齢者文化祭や高齢者作品展での発表や作品展示に向けて仲間との交流を図りながら楽しんで取り組んでいる。

また、当センターを主会場に3年間の学習形態で上田市高齢者学園の授業が行われており、卒業後は各種同好会やクラブ活動をはじめ、学んだ知識を地域での活動に役立てている。

ア 利用状況

高齢者の生きがいと健康づくりを目的に多くの皆さんが利用された。

月	利用延人数(人)	開館日数(日)	1日の利用者数(人)
---	----------	---------	------------

4	8,045	25	321.8
5	7,390	23	321.3
6	8,436	26	324.5
7	8,089	26	311.1
8	7,035	26	270.6
9	7,857	23	341.6
10	8,917	26	343.0
11	7,340	23	319.1
12	6,734	23	292.8
1	6,741	23	293.1
2	8,023	24	334.3
3	8,281	26	318.5
合計	92,888	294	平均 315.9

利用状況の推移

	利用延人数 (人)	開館日数 (日)	1日平均利用者 (人)
27年度	92,888	294	315.9
26年度	92,082	294	313.0
25年度	93,135	294	317.2

イ その他事業

- ・高齢者文化祭 10月17日(土)、18日(日) 参加者 1,380人

ウ 利用人数

- ・教養クラブ活動(32クラブ) 参加者 41,152人
- ・高齢者初級パソコン教室 277回 参加者 1,944人
- ・実習生・ボランティア 12回 参加者 84人

(2) 高齢者学園事業(市受託事業)

上田市高齢者学園は、高齢者の方の「仲間づくり、健康づくり、生きがいづくり」を目指す学びの場として、様々な学習活動(授業、クラブ、課外、校外)を行うとともに、仲間同士の絆を深めながら、地域での積極的な交流を行った。

また、講義評価アンケートを実施するとともに、学生からの様々な要望や意見を取り入れ、学園生の自発的な学園運営に役立てた。

併せて、時代に合った学習内容への大幅な見直しを図るため学習課題検討部会を設け、学習分野の見直しにはじまり、学園らしさを活かした授業展開が行えるよう新たな学習計画づくりに取り組んだ。

ア 学生数 1年生 58人、2年生 52人 3年生 53人

- イ 講義回数 1年生 12 講義、2年生 13 講義、3年生 12 講義
- ウ 研修会 1年生 創造館研修、2年生 松代研修、3年生 長野研修
- エ 交流会 1年生 別所地域散策、2年生 武石地域散策、3年生 武石地域散策
- オ 研修旅行 1年生 10月6日(火)～7日(水) 茨城県五浦温泉
2年生 10月14日(水)～15日(木) 福島県母畑温泉
3年生 6月15日(月)～16日(火) 福島県母畑温泉
- カ クラブ活動 7種類のクラブ活動を各学年の講義日に設定し(年間7回)学習効果を高めるとともに、三学年合同のクラブ発表会を開催し、ステージ発表や作品展示をとおして活動の成果を確かめ合った。
また、今回から学園運営委員を招き、意見交換を含め互いに交流を深めた。
- キ 運営委員会 第1回運営委員会 11月20日(金)
第2回運営委員会 2月25日(木)
- ク その他 講義評価アンケートの実施

(3) 上田市丸子老人福祉センター設置管理事業(市補助事業)

上田市丸子老人福祉センターは、高齢者の心身の健康の保持のため、健康相談・指導・入浴・休養・レクリエーションなどを行うとともに、文化教養の向上を図るため老人のクラブ活動等を行い、高齢者福祉に総合的に寄与することを目的に昭和54年に開設した。

開設当時より社会福祉協議会の事業として運営されており、老人クラブの活動や高齢者憩いの場所として多くの方に利用されている。

利用状況

月	利用延人数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者数(人)
4	2,438	26	93.8
5	2,208	26	84.9
6	2,432	25	97.3
7	2,330	27	86.3
8	1,979	25	79.2
9	2,270	25	90.8
10	2,287	27	84.7
11	2,272	25	90.9
12	2,155	24	89.8
1	1,968	24	82.0
2	2,400	25	96.0
3	2,459	27	91.1
合計	27,198	306	88.9

利用状況の推移

	利用延人数 (人)	開館日数 (日)	1日平均利用者 (人)
27年度	27,198	303	88.9
26年度	25,954	303	85.4
25年度	24,559	303	81.1

(4) 上田市真田老人福祉センター管理事業(市受託事業)

上田市真田老人福祉センターは、高齢者の健康相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーション等憩いの目的に利用されている。

利用状況

月	利用延人数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者数(人)
4	1,130	26	43.5
5	1,082	26	41.6
6	1,136	26	43.7
7	1,249	27	46.3
8	983	23	42.7
9	1,151	26	44.3
10	1,268	27	47.0
11	1,145	25	45.8
12	1,097	23	47.7
1	1,019	24	42.5
2	1,295	25	51.8
3	1,350	27	50.0
合計	13,905	305	45.6

利用状況の推移

	利用延人数 (人)	開館日数 (日)	1日平均利用者 (人)
27年度	13,905	305	45.6
26年度	12,099	313	38.7
25年度	11,894	303	39.3

(5) 上田市武石老人福祉センター管理事業(市受託事業)

武石老人福祉センターは、「木工教室」、「大正琴」などの趣味活動、単位高齢者クラブや各種福祉団体の会議等に利用されている。

利用状況

月	利用延人数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者数(人)
4	115	21	5.5
5	110	18	6.1
6	66	22	3.0
7	76	22	3.5
8	150	21	7.1
9	78	19	4.1
10	101	21	4.8
11	69	19	3.6
12	123	19	6.5
1	67	19	3.5
2	80	20	4.0
3	106	22	4.8
合計	1,141	243	4.7

利用状況の推移

	利用延人数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者数(人)
27年度	1,141	243	4.7
26年度	1,064	244	4.3
25年度	1,041	243	4.2

老人福祉センター事業の評価等

老人福祉センター事業は、超高齢社会の時代において、高齢者が主体的に社会との関わりを保ちながら、生きがいを持って健康増進を図るための拠点として有効に活用された。

各クラブ活動においては、趣味や特技を活かした活動やボランティアが積極的に行われ、地域における社会貢献の模範ともなっている。

また、福祉教育の一環として看護学校をはじめとした実習生や学生ボランティアを受け入れる中で、学生と利用者との貴重な世代間交流の場となり、互いに良好な相互作用がもたらされた。

全体として、センター施設を中心に長寿社会における高齢者の生き方の模範的な活動が行われており、特に健康寿命の増進に貢献しているものと評価できる。

なお、施設の老朽化が進み年々修繕箇所が増えているのが課題となっている。

20 真田ふれあいバス運行事業(市受託事業)

老人センターへの利便を図るため、定期的にふれあいバスを運行している。公共のバス路線では対応できない地域に密着した路線を中心に運行している。

- ・定期運行 毎週 月、水、木、金曜日に真田地域巡回（菅平区は除く）
- ・25人乗りマイクロバス 迎え1回 送り2回の巡回
- ・運休日 毎週 火、土、祝日、お盆（8月13日～16日）
年末年始（12月29日から1月3日）

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者(人)	642	502	571	583	491	483	
運行日数(日)	17	15	17	18	15	15	
1日平均利用者数(人)	37.8	33.5	33.6	32.4	32.7	32.2	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数(日)	508	549	521	449	638	596	6,533
運行日数(人)	17	16	14	15	16	17	192
1日平均利用者数(人)	29.9	34.3	37.2	29.9	39.9	35.1	34.0

ふれあいバス利用状況の推移

	27年度	26年度	25年度
利用者数(人)	6,533	6,120	6,110
運行日数(日)	192	193	187
一日平均利用者数(人)	34.0	31.7	32.6

2.1 真田生活支援事業

結婚式、お宮参り、葬式等に必要な衣装を有償で貸出をしている。

貸出状況

品名	貸出件数
留袖	1
モーニング	3
合計	4

2.2 在宅介護者リフレッシュ事業(市受託事業)

在宅で高齢者を介護している介護者の皆さんが、心身の疲れを癒し、元気の回復を図り、関係機関から相談援助や情報提供を受ける。また、同じ悩みや体験をもつ介護者同士の交流を図ることを目的として実施した。

(1泊2日) ①期 日 平成27年9月29日(火)～30日(水)

- 場 所 能登地方・輪島見学（石川県）
 参加者 20 人
 ②期 日 平成 27 年 10 月 29 日（木）～30 日（金）
 場 所 群馬方面・富岡製糸見学（群馬県）
 参加者 35 人

2 3 小泉ふれあいホーム事業

この施設は、一人暮らしや日中一人になってしまう高齢者が、家庭的な雰囲気の中でお互い交流することにより、生きがいを高めていただく介護予防を目的とした施設である。

ア 主な事業

- ・高齢者の交流事業（ふれあいサロン）
- ・生きがい活動支援通所事業（生きがい対応型デイサービス事業）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ふれあいサロン 利用者数(人)	66	74	54	52	44	56	68	54	54	48	57	62	689
利用回数(回)	8	8	8	8	7	8	8	8	8	8	8	8	95
生きがい活動支援 利用者数(人)	16	11	20	20	21	19	14	14	12	17	13	11	188
利用回数(回)	4	3	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	46

2 4 みまもり（声かけ）訪問事業

丸子地区では少子高齢化、核家族化社会の中で、一人での暮らしや健康に不安をかかえている高齢者世帯が住み慣れた地域で孤立することなく、安心して暮らすことができるよう、ボランティアによるみまもり声かけ訪問を行い、助け合いのしくみづくりを行った。

(ア) 実施内容

登録ボランティアが月 2 回程度利用者宅を訪問し、玄関先や軒先で日常の話をお聞きした。訪問にはお便りなどを届けている。

(イ) 対象者

65 歳以上の方のみの世帯または同居されていても日中一人になる方で、介護保険サービスを利用されていない方（登録利用者 9 人）

(ウ) 協力者

みまもり（声かけ）訪問事業登録ボランティア（登録ボランティア 28 人）

(エ) 見守り訪問実績（H25 年 11 月から開始）

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
訪問件数	20	20	17	18	16	18	
訪問ボランティア	31	36	29	28	27	34	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問件数	19	18	18	14	13	18	209
訪問ボランティア	34	34	36	23	28	33	373

生活支援事業の評価等

真田ふれあいバス運行事業は、地域の住民の生活を支える足として定着しており、昨年度に比べ利用者も増えている。

丸子地区の独自事業である「みまもり（声かけ）訪問事業」は、地域住民のボランティアによって支えられている。現在は登録制で行われているが、この事業が各地域に浸透し、日常的な支え合いの仕組みづくりに派生していくことを期待したい。

25 ふれあい福祉センター管理事業(市受託事業)

ふれあい福祉センターは、旧上田郵便局舎を改修し、障がい者の社会参加の支援、市民のボランティア活動への参加を積極的に促進するとともに、市民と高齢者、ボランティアの交流を推進することを目的に平成11年11月15日にオープンし、福祉の拠点として多くの方が利用された。

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用延べ人数(人)	2,524	2,704	2,975	3,358	2,300	2,902	
日数(日)	30	31	30	31	31	30	
1日平均利用者(人)	84.1	87.2	99.2	108.3	74.2	96.7	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数(人)	3,593	3,030	2,747	2,489	2,823	2,969	34,414
日数(日)	31	30	28	28	29	31	360
1日平均利用者(人)	115.9	101.0	98.1	88.9	97.3	95.8	95.6

26 真田総合福祉センター管理事業(市受託事業)

真田総合福祉センターは、地域の多くの方に利用していただける施設です。障がい者及び高齢者の社会参加を支援するとともに、市民のボランティア活動への参加を積極的に推進することを目的としている。また多くのクラブ活動に利用されている。

開館日：火曜日の夜間を除く毎日

開館時間：午前9時～午後9時30分

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用延べ人数(人)	1,252	1,093	1,299	1,434	1,174	1,991	
日数(日)	30	31	30	31	31	30	
1日平均利用者(人)	41.7	35.3	43.3	46.3	37.9	66.4	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数(人)	1,801	1,071	1,112	858	862	1,353	15,300
日数(日)	31	30	28	28	29	31	360
1日平均利用者(人)	58.1	35.7	39.7	30.6	29.7	43.6	42.3

27 真田地域活動センター管理運営事業(市受託事業)

障がい者及び高齢者が民芸品の自主制作に取組み、生産意欲を持って健康で楽しく働き、社会生活の適応性を高めることを目的に利用されている。

開館日：月曜日～土曜日（ただし、お盆、年末年始、祝日休館）

利用者：12人（身障者5人 高齢者7人）

28 長瀬市民センター管理事業(市受託事業)

長瀬市民センターは、市からの受託事業で、市民の福祉の増進に寄与することを目的として、会場の貸し出し等の管理運営を行い、市民に広く利用されている。

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用延人数(人)	964	984	1,277	992	615	1,144	
開館日数(日)	25	27	26	26	27	25	
1日平均利用者数(人)	38.6	36.4	49.1	38.2	22.8	45.8	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人数(人)	882	1,081	686	810	1,006	1,072	11,513
開館日数(日)	27	26	24	24	25	26	308
1日平均利用者数(人)	32.7	41.6	28.6	33.8	40.2	41.2	37.4

施設管理事業の評価等

地域の方々をはじめ、ボランティアやNPO法人、福祉団体等の定例会や活動の場として幅広く利用されており、その活動促進につながっている。また、障がい者や高齢者の社会参加の場としての役割と共にボランティアとの交流の場にもなっている。

年々、建物の老朽による修繕が増えているが、常に点検を行い安全には細心の注意を払っている。

29 共同募金配分金事業

戦後の混乱した経済社会状況の中、「国民たすけあい」の精神を基に始められ赤い羽根共同募金運動は、民間社会福祉事業の経済的基礎を確立する上で大きく貢献した。

半世紀以上過ぎた今でも、共同募金にお寄せいただく皆様の善意は、民間社会福祉施設や団体にとって貴重な活動財源になっており、毎年10月1日から各都道府県共同募金会が主体となって全国一斉に展開される共同募金運動に積極的に協力している。

お寄せいただいた募金は、長野県共同募金会へ一旦集約され、配分決定のあった民間社会福祉施設、団体に翌年度配分される。

共同募金への募金ができる機能がついている自動販売機「ハートフルベンダー」が上田市内において1施設2台設置され、募金運動が行われた。

平成27年度募金総額	28,247,725円（目標額 28,145,000円）
内訳 戸別募金	25,794,466円
法人募金	1,506,887円
学校募金	230,684円
職域募金	120,851円
街頭募金	399,737円
その他	195,100円

	上田地区	丸子地区	真田地区	武石地区	合計
戸別募金	17,742,371円	4,847,764円	2,212,651円	991,680円	25,794,466円
法人募金	1,105,086円	340,801円	58,000円	3,000円	1,506,887円
学校募金	170,051円	31,868円	28,625円	140円	230,684円
職域募金	71,506円	21,952円	22,418円	4,975円	120,851円
街頭募金	350,202円	29,086円	15,722円	4,727円	399,737円
その他	195,100円	0円	0円	0円	195,100円
合計	19,634,316円	5,271,471円	2,337,416円	1,004,522円	28,247,725円

経年推移

	上田地区		丸子地区		真田地区		武石地区		合計	
	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度
戸別募金	17,951,779	18,250,520	4,992,688	5,047,238	2,273,220	2,350,997	978,232	979,001	26,195,919	26,627,756
法人募金	1,091,467	1,101,742	240,317	176,185	57,000	73,000	5,000	0	1,393,784	1,350,927
学校募金	153,838	201,668	28,116	37,331	32,873	28,068	2,149	3,002	216,976	270,069
職域募金	73,220	74,267	33,942	18,894	26,916	10,958	6,151	4,480	140,229	108,599
街頭募金	406,307	417,305	30,551	22,529	12,288	16,686	6,140	8,817	455,286	465,337
その他	176,185	208,588	26,000	26,047	0	30,019	1,000	1,005	203,185	265,659
合計	19,852,796	20,254,090	5,351,614	5,328,224	2,402,297	2,509,728	998,672	996,305	28,605,379	29,088,347

共同募金配分金事業の評価等

地域で集められた募金は、地域で使われる仕組みづくりであり、ボランティア団体やNPO法人、社会福祉施設へ助成し活動支援をすることで、市民へのサービスとして還元されている。

募金実績においては年々若干減少傾向にあり、市民の方々の理解を得られる募金方法や周知の仕方を検討し、配分金を受けている事業についても、もっと市民に対してアピールしていく必要があると感じている。

30 地域包括支援センター(市受託事業)

(1) 神川地域包括支援センター事業

専門職の看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員の常勤3人と非常勤の介護支援専門員1人で、地域の高齢者の皆さんや家族の方々が、住み慣れた地域で安心して生活を送っていただくことを目的とし、地域福祉の拠点となるよう事業を実施した。

- ・介護保険利用者に対する介護予防プランの作成
- ・高齢者、家族、地域住民等に対する総合的相談及び支援
- ・高齢者虐待防止及び早期発見等の権利擁護事業
- ・支援困難ケースへの対応など介護支援専門員への支援
- ・高齢者主体の自治会活動の啓発

ア 相談内容・人数（電話・来所・訪問）

相談件数の推移（単位：件）

総合的な相談(件)			権利擁護(件)			介護予防マネジメント(件)			合計(件)		
27年度	26年度	25年度	27年度	26年度	25年度	27年度	26年度	25年度	27年度	26年度	25年度
809	946	1,162	350	120	73	2,207	2,087	1,893	3,366	3,153	3,128

イ 事業内容

	回数	内 容
夜間緊急相談実績回数	5	介護保険について、介護相談等
介護予防活動講演、実技	24	健康広場、いきいきサロン、ふれあい広場、おたっしや教室、茶話会等
会議、研修	92	民生委員・児童委員会、地域包括担当者会議、県・市主催の研修等
ケースカンファレンス (医療との連携)	74	精神疾患のある方の入退院の支援、医療機関から在宅へ向けての支援
介護支援員専門員に対する支援	19	困難支援ケースへの対応・支援
高齢者実態把握	95	主に民生委員・児童委員会からの台帳による訪問
介護予防プラン作成件数	87	生活支援型ヘルパー、配食サービス、訪問指導、生きがい対応型デイサービスのプラン作成 運動機能教室、口腔機能向上教室、ステップアップ教室（口腔）
介護予防支援計画件数 (新予防給付)	1,944	要支援1・要支援2

ウ その他

- (ア) おたっしや教室を開催した。(5回開催 150人参加)
- (イ) 介護予防地域支援事業として「軽い体操と頭のトレーニングについて」「熱中症予防について」「介護保険について」等、地域で講座を開催した。
- (ウ) 民生委員・児童委員会に3職種（看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員）交代で参加した。
- (エ) 実態把握、認定調査を行った。
- (オ) 各種研修会に参加し自己研鑽に努めた。
- (カ) 勤務時間外は携帯電話にて24時間緊急対応体制をとり対応を行った。
- (キ) 民生委員・児童委員会へ地域包括支援センターの活動内容紹介と関係づくりに努めた。
- (ク) 地域ケア会議を3回開催した。

(2) 丸子地域包括支援センター事業

専門職の看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員、介護支援専門員の常勤 3 人と非常勤の介護支援専門員、社会福祉士 2 人で、地域の高齢者の皆さんや家族の方々が、住み慣れた地域で安心して生活を送っていただくことを目的とし、地域福祉の拠点となるよう事業を実施した。

- ・高齢者の実態把握及び介護予防プラン作成
- ・高齢者、家族、地域住民等に対する総合的相談及び支援
- ・虐待防止及び早期発見等の権利擁護事業
- ・支援困難ケースへの対応など介護支援専門員への支援
- ・高齢者主体の自治会活動の啓発

ア 相談内容・人数（電話・来所・訪問）

相談件数の推移（単位：件）

総合的な相談(件)			権利擁護(件)			介護予防マネジメント(件)			合計(件)		
27年度	26年度	25年度	27年度	26年度	25年度	27年度	26年度	25年度	27年度	26年度	25年度
1,133	1,619	2,565	264	402	379	4,548	4,305	342	5,945	6,326	3,286

イ 事業内容

	回数	内 容
夜間緊急相談実績回数	111	介護保険について、介護相談等
介護予防活動講演、実技	77	健康広場、いきいきサロン、ふれあい広場 認知症ホ－ター養成講座開催等
会議、研修	193	民生委員・児童委員会、地域ケア担当者会議、県・市主催の研修等
ケースカンファレンス (医療との連携)	53	精神疾患者の入院、認知症、アルコール依存症、 浪費してしまう高齢者の支援について 独居高齢者の退院、退所後の支援について等
介護支援専門員に対する支援	6	困難支援ケースへの対応・支援
高齢者実態把握	150	民生委員・児童委員からの台帳により訪問
介護予防プラン作成件数	113	生活支援型ヘルパー、配食サービス、訪問指導 生きがい対応型デイサービスのプラン作成 介護予防事業（運動、口腔、総合）
介護予防支援計画件数 (新予防給付)	1,928	要支援1・要支援2

ウ その他

- (ア) おたっしや教室を開催した。(30 回開催 541 人参加)
- (イ) 介護予防地域支援事業として、「健康に関すること・体操」「権利擁護に関すること」「介護保険に関すること」等、地域で講座を開催した。
- (ウ) 高齢者が増えていく中で、認知症の正しい理解をしてもらうために、地域住民、高校生、社協移送サービス運転協力員を対象に認知症サポーター養成講座を開催した。(3 回開催 55 人参加)
- (エ) 実態把握を行った。
- (オ) 各種研修会に参加し自己研鑽に努めた。
- (カ) 勤務時間外は携帯電話による 24 時間緊急対応体制をとり対応を行った。
- (キ) 民生委員・児童委員会に出席し、包括支援センターの活動内容の紹介と関係づくりに努めた。
- (ク) 地域ケア会議を 9 回開催した。(合同 1 回・個別 8 回)
- (ケ) 丸子地域における地域密着型施設の運営推進会議に出席した。
- (コ) 看護学生の実習受け入れを行い、人材育成に協力した。

(3) 真田地域包括支援センター事業

専門職の看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員の常勤 3 人で、地域の高齢者の皆さんや家族の方々が、住み慣れた地域で安心して生活を送っていただくことを目的とし、地域福祉の拠点となるよう事業を実施した。

- ・ 高齢者の実態把握及び介護予防プラン作成
- ・ 高齢者、家族、地域住民等に対する総合的相談及び支援
- ・ 虐待防止及び早期発見等の権利擁護事業
- ・ 支援困難ケースへの対応など介護支援専門員への支援
- ・ 高齢者主体の自治会活動の啓発

ア 相談内容・人数 (電話・来所・訪問)

相談件数の推移 (単位：件)

総合的な相談(件)			権利擁護(件)			介護予防マネジメント(件)			合計(件)		
27 年度	26 年度	25 年度	27 年度	26 年度	25 年度	27 年度	26 年度	25 年度	27 年度	26 年度	25 年度
768	1,126	985	142	19	84	3,207	334	189	4,117	1,479	1,258

イ 事業内容

	回数	内 容
夜間緊急相談実績回数	12	介護保険について、介護相談等
介護予防活動講演、実技	42	健康広場、いきいきサロン、ふれあい広場、おたっしや教室、認知症サポーター養成講座等
会議、研修	151	民生委員・児童委員会、地域包括担当者会議、県・市主催の研修等
ケースカンファレンス (医療との連携)	15	個別事例に対するサービス担当者会議開催支援、医療機関から在宅へ向けての支援、認知症独居高齢者の退院の支援について等
介護支援専門員に対する支援	5	困難支援ケースへの対応・支援
高齢者実態把握	180	民生委員・児童委員会からの台帳により訪問
介護予防プラン作成件数	93	生活支援型ヘルパー、配食サービス、訪問指導、生きがい対応型デイサービスのプラン作成、介護予防事業（運動機能向上教室・口腔機能向上教室）
介護予防支援計画件数 (新予防給付)	1,048	要支援1・要支援2

ウ その他

- (ア) おたっしや教室を開催した。(10回開催 161人参加)
- (イ) 認知症の正しい理解をしてもらうために、小学生、中学生を対象に認知症サポーター養成講座を開催した。(2回開催 91人参加)
- (ウ) 地域ケア会議を3回開催した。
- (エ) 老人福祉センターで月1回介護健康相談を真田地域自治センター市民サービス課高齢者支援担当保健師と交代で行った。
- (オ) 総合福祉センターで身体らくらく運動教室を月1回開催した。(12回開催 111人参加)
- (カ) 老人福祉センターで音楽レクリエーションを隔月で開催した。(6回開催 75人参加)
- (キ) 健康や介護保険等について健康福祉講座を行った。
- (ク) 男性の自立支援のため、「男性の料理教室」を開催した。
- (ケ) 民生委員・児童委員会に出席し、包括支援センターの活動内容の紹介と関係づくりに努めた。
- (コ) 真田地域における地域密着型施設の運営推進会議に出席した。
- (サ) 実態把握を行った。
- (シ) 看護学生の実習受け入れを行い、人材育成に協力した。
- (ス) 独居・高齢者世帯・認知症高齢者が増えていく中、相談は敏速に専門分野ごと満足いただける相談、情報提供を心がけ対応をした。

- (セ) 真田地域に毎月全戸配布の「真田生き生きふるさと通信」の1ページを年5回担当し、高齢者と関わる包括業務の記事を掲載し包括の周知に心がけた。
- (ソ) 各種研修会に参加し自己研鑽に努めた。
- (タ) 勤務時間外は携帯電話にて24時間緊急対応体制をとり対応を行った。

(4) 武石地域包括支援センター事業

専門職の看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員の常勤の専門職3人で、地域の高齢者を中心に全ての地区住民が、住み慣れた地域で安心して生活を送っていただくことを目的とし、地域福祉の拠点となるよう事業を実施した。

- ・高齢者の実態把握及び介護予防プラン作成
- ・高齢者や家族、地域住民等、生活に困難を抱える住民に対する総合的相談及び支援
- ・虐待防止及び早期発見等の権利擁護事業
- ・支援困難ケースへの対応など介護支援専門員への支援
- ・地域による高齢者障害者の支援ネットワークの構築
- ・高齢者サロンの企画立案・実施
- ・高齢者主体の自治会活動の啓発

ア 相談内容・人数（電話・来所・訪問）

相談件数の推移（単位：件）

総合的な相談			権利擁護			介護予防マネジメント			合計		
27年度	26年度	25年度	27年度	26年度	25年度	27年度	26年度	25年度	27年度	26年度	25年度
519	668	1,638	311	119	106	1,282	883	155	2,112	1,670	1,899

イ 事業内容

	回数	内 容
夜間緊急相談実績回数	56	介護保険について、介護相談等
介護予防活動講演、実技	53	健康広場、いきいきサロン、ふれあい広場 認知症サポーター養成講座開催等
会議、研修	157	民生委員・児童委員会、地域ケア担当者会議、県・市主催の研修等
ケースカンファレンス (医療との連携)	153	医療機関、その他との連携 個別事例に対するサービス担当者会議開催支援、 質の向上のための研修、ケアマネージャーへの指導など
介護支援専門員に対する支援	5	困難支援ケースへの対応・支援

高齢者実態把握	113	民生委員・児童委員からの台帳、当事者・高齢者支援係からの依頼により訪問
介護予防プラン作成件数	18	生活支援型ヘルパー、配食サービス、訪問指導 生きがい対応型デイサービスのプラン作成 介護予防事業
介護予防支援計画件数 (新予防給付)	966	要支援1・要支援2
総合事業ケアマネジメント件数	75	担当地区内総合事業に関するプラン作成

ウ その他

- (ア) おたっしや教室を開催した。(15回開催 228人参加)
- (イ) 介護予防地域支援事業として「健康に関すること・体操」「消費者被害等に関すること」「介護保険に関すること」など啓発活動を行った。
- (ウ) 地域住民の方に認知症の正しい理解をしてもらうために、認知症学習会(サポーター養成講座)を開催した。(武石地域2回・依田窪南部中学校1回)
- (エ) 市武石高齢者支援係と協働して、介護予防の必要性についての啓発と健康運動士の指導による体操を毎月行った。(武石地域)
- (オ) 地域ケア会議を6回開催した(内個別地域ケア会議4回)。
- (カ) 各種研修会に積極的に参加し自己研鑽に努めた。
- (キ) 看護師実習生の受け入れを行い人材育成に協力した。(年2回)
- (ク) 民生児童委員会に3職種(看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員)交代で参加し、地域包括支援センターの活動内容の紹介と事例報告などを行い、連携への協力を求めた。
- (ケ) 勤務時間外は携帯電話にて24時間緊急対応体制をとり対応した。

地域包括支援センター事業の評価等

地域の中核機関である相談窓口として、高齢者の福祉や介護、権利擁護に関する相談や関係機関との連携を強化し、高齢者やその家族が住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう支援した。

介護予防プラン(介護給付)の件数が年々増加するとともに、支援困難ケースが多く寄せられ、地域の様々な福祉課題が垣間見られる。

3 1 通所介護事業(介護保険事業)

(1) 中央デイサービスセンター事業

身体の障がい、虚弱等のため介護が必要な方が日中通所して、日常動作訓練・給食・入浴・レクリエーション等のサービスを受けることにより、心身機能の維持向上を図るとともに、社会的孤立感の解消・介護者の負担軽減を図ることを目的に実施した。

また、日常生活動作、特に立ったり、座ったり、階段を上がったりする場面に使われる筋肉を意識して運動するように目的を明確化している。

ア 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	1日の利用者 定員数 25人
開所日数(日)	26	26	26	27	26	26	
利用者(人)	396	454	483	560	500	519	
ボランティア数(人)	15	18	14	26	12	18	
1日平均利用者(人)	15.2	17.4	18.6	20.7	19.2	19.9	
平成26年度 1日平均利用者(人)	13.8	13.5	13.4	12.7	13.3	14.4	
平成25年度 1日平均利用者(人)	14.7	14.7	15.9	16.2	16.4	16.6	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数(日)	27	25	26	24	25	27	311
利用者(人)	536	512	518	460	462	529	5,929
ボランティア数(人)	13	15	68	13	10	15	237
1日平均利用者(人)	19.9	20.5	19.9	19.2	18.5	19.6	19.1
平成26年度 1日平均利用者(人)	14.5	14.5	14.1	14.3	15.8	15.7	14.1
平成25年度 1日平均利用者(人)	16.6	16.6	15.0	15.0	15.2	15.3	15.6

イ 主な行事

・お花見	4月7日(火)～8日(水)	37人
・こいのぼり見学	5月5日(火)	27人
・買い物ツアー	5月25日(月)～6月3日(水)	26人
・買い物ツアー	9月1日(火)～9月10日(木)	27人
・薔薇お花見	6月5日(金)～11日(木)	32人
・あじさい見学	7月6日(月)～14日(火)	19人
・蓮お花見	7月15日(水)～20日(月)	43人

・七夕祭り	8月7日(金)	18人
・夏祭り	8月13日(木)	13人
・かき氷作り	8月18日(火)、8月20日(木)	26人
・運動会	10月8日(木)～14日(水)	78人
・高齢者文化祭	10月17日(土)	20人
・喫茶会	10月22日(木)	18人
・紅葉ツアー	11月2日～6日	41人
・お楽しみ会	12月12日(土)～14日(月)	78人
・まゆ玉作り	1月13日(水)、14日(木)	29人
・節分豆まき	2月3日(水)	18人
・ひな祭り	3月3日(木)	23人
・抹茶会	10月 11月 12月 2月 各月一回	72人
・お誕生日会	毎月	

ウ ボランティア

・なかよしグループ	(月1回)
・ギターフォーラム	(隔月1回)
・ハーモニカ	(月2回)
・サンピアン	(年4回)
・四ツ葉会	(年3回)
・朗読	(月2回)
・紙芝居	(月1回)

エ その他

・スプリングチャレンジボランティア受入	1人
・介護体験学生受入	1人
・職場体験学生受入	1人
・介護実習生受入	5人
・看護学生実習生受入	38人

(2) 神川デイサービスセンター事業

この事業は身体の障がい、虚弱等のため介護が必要な方が日中通所して、日常動作訓練・給食・入浴・レクリエーション等のサービスを受けることにより、心身機能の維持向上を図るとともに、社会的孤立感の解消・介護者の負担軽減を図ることを目的に実施した。

ア 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	1日の利用者 定員数 25人
開所日数(日)	26	26	26	27	26	26	
利用者(人)	572	566	566	578	551	542	
ボランティア数(人)	14	33	26	19	27	26	
1日平均利用者(人)	22.0	21.8	21.8	21.4	21.2	20.9	
平成26年度 1日平均利用者(人)	20.1	18.7	20.4	20.5	20.6	19.6	
平成25年度 1日平均利用者(人)	18.1	17.5	18.0	18.9	18.4	19.1	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数(日)	27	25	26	24	25	27	311
利用者(人)	570	513	541	481	500	524	6,504
ボランティア数(人)	19	26	68	25	33	40	356
1日平均利用者(人)	21.1	20.5	20.8	20.0	20.0	19.4	20.9
平成26年度 1日平均利用者(人)	19.9	20.6	20.3	18.6	18.7	20.3	19.4
平成25年度 1日平均利用者(人)	19.0	19.3	18.0	17.7	17.5	18.5	18.3

イ 主な行事

- ・お花見ドライブ(丸子、東御、桜) 4月13日(月)～16日(木) 33人
- ・つつじ見物 5月11日(月)～14日(木) 36人
- ・薔薇園 6月1日(月)、2日(火) 20人
- ・外食かっぱ寿司 6月8日(月)～30日(火) 33人
- ・七夕まつり 8月4日(火)～7日(金) 61人
- ・運動会 10月20日(火)～24日(土) 99人
- ・紅葉巡り 11月3日(火)～5日(木)、9日(月) 36人
- ・利用者忘年会 12月15日(火)～18日(金) 85人
- ・繭玉作り 1月13日(水) 22人
- ・節分 2月3日(水) 23人
- ・雛祭り 3月3日(木) 21人
- ・外出、ファッションモールはなおか 及び やおふくへ買い物 20人
- ・第一中学校との交流会 年2回 ・神川小学校との交流会 年1回
- ・誕生日会 随時

ウ ボランティア

- ・ギターフォーラム 隔月1回 ・シルバーバンド 年7回

・花一輪	年 4 回	・江戸芸かっぼれ	年 5 回
・手話ダンス	年 3 回	・ハーモニカ	年 1 回
・フォークダンス	年 1 回	・フラダンス	年 1 回
・侍学園	年 1 回	・ハンドマッサージ	年 1 回
・トロンボーン	年 1 回	・沖縄民踊	年 1 回
・お話しボランティア	月、木曜日	週 1 回	

エ ボランティア

・サマーチャレンジボランティア受入	2 人
・介護体験学生受入	2 人
・スプリングチャレンジボランティア受入	1 人

(3) 武石デイサービスセンター事業

在宅で生活している要介護、要支援の高齢者に利用していただき、食事や入浴のほか、リハビリ体操、レクリエーション等を通じて残存機能の維持向上を目指すとともに、季節ごとの行事や利用者同士のふれいあいを大切にした行事をたくさん取り入れ、心身ともに活性化が図れるようサービス提供に努めた。また、在宅生活を維持するため、介護者からの相談に乗りながら負担軽減に努め、利用者の増加と経費削減に取組実施した。

ア 利用状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 日の利用者 定員数 35 人
開所日数 (日)	30	31	30	31	31	30	
利用者 (人)	609	627	588	654	681	673	
ボランティア数 (人)	2	5	2	2	14	2	
1 日平均利用者 (人)	20.3	20.2	19.6	21.1	22.0	22.4	
平成 26 年度 1 日平均利用者 (人)	19.1	18.4	19.3	18.9	19.5	20.2	
平成 25 年度 1 日平均利用者 (人)	17.2	17.3	18.1	19.0	18.5	19.1	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
開所日数 (日)	29	30	30	28	29	31	360
利用者 (人)	694	692	674	594	587	616	7,689
ボランティア数 (人)	12	18	29	4	5	4	99
1 日平均利用者 (人)	23.9	22.3	22.5	21.2	20.2	19.9	21.4
平成 26 年度 1 日平均利用者 (人)	22.8	22.2	22.0	21.4	20.8	20.1	20.3
平成 25 年度 1 日平均利用者 (人)	19.0	19.8	19.4	17.8	15.8	16.9	18.2

イ 主な行事

(ア) 施設内

・ 柏餅づくり	4月20日(月)～22日(水)	53人
・ おやつ作り	7月14日(火)～18日(土)	63人
・ 手づくな	4月3日(金)～23日(木)	96人
	6月28日(日)～30日(火)	36人
・ やすらぎ祭り	7月28日(火)～8月7日(金)	78人
・ 文化祭準備	8月14日(金)～9月3日(木)	102人
・ おはぎづくり	9月8日(火)～20日(日)	82人
・ 園児との交流会	7月21日(火)～7月23日(木)	62人
・ ミニ運動会	10月1日(木)～14日(水)	87人
・ 正月準備	11月15日(日)～12月24日(木)	131人
・ そば・うどん打ち実演	11月26日(木)・1月19日(火)	46人
・ 忘年会	12月1日(火)～11日(金)	81人
・ まゆ玉づくり	1月7日(木)～13日(水)	94人
・ 節分・豆まき	2月3日(水)	17人
・ やすらぎ喫茶	2月4日(木)～17日(水)	84人
・ 寿司バイキング	2月20日(日)、3月21日(月)	42人
・ ひなまつり	2月24日(水)～3月3日(木)	72人
・ ぼたもち作り	3月7日(月)～23日(水)	101人

(イ) 屋外行事

・ お花見	4月・7月	149人
・ 喫茶会	5月15日(金)～20日(水)	80人
・ 紅葉狩り	10月20日(火)～23日(水)	76人

(ウ) 誕生会

- ・ 毎月1回(該当者 写真撮影)

(エ) ボランティア行事

・ 大正琴	年3回	・ フラダンス	年1回
・ なかよしクラブ	年1回	・ ギターフォーラム	年1回
・ 児童館の児童による演奏	年1回	・ 個人ボランティア演奏	年5回
・ chi-ku 竹庵	年2回(ダンス、歌、話し相手、手作りプレゼント)		

通所介護事業の評価等

各デイサービスにおいて、安心、安全はもとより、利用者個々に寄添うサービス提供を常に心がけている。利用者は増加傾向にあるが、定員数の確保にむけて今後も広く市民へPRをしていきたい。

職員の資質向上と専門職としての意識を高めるよう、研修への参加や資格取得も積極的に行っている。

また、介護体験や職場体験の学生、介護や看護学生実習もできる限り受入れ、福祉の担い手の育成にも努めている。

3 2 居宅介護支援事業(介護保険事業)

平成 12 年度から介護保険制度が始まり、従来の措置から契約へと大きく様変わりしました。上田市社協も長年培った介護のノウハウを活かして介護保険の事業者として、利用者の自立支援を目指して各種介護サービスを行った。

(1) 介護相談センター事業・神川介護相談センター事業・丸子介護相談センター事業

可能な限り住み慣れた居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、心身の状況やおかれている環境等に応じて、常に利用者の立場にたった支援に努めた。

ア 業務内容

- ・介護保険代行（更新・申請含む）
- ・介護に関する相談
- ・ケアプラン作成
- ・サービス担当者会議
- ・サービス計画の実施状況の把握・モニタリング
- ・必要に応じサービス計画の変更、サービス事業者との連絡調整
- ・上田市特例措置制度利用認定利用者の申請代行
- ・認定調査（要支援・要介護認定）及び調査票作成

イ 介護支援専門員

- ・介護相談センター：正規専任 2 人 嘱託兼務 1 人 嘱託専任 2 人、
臨時専任 1 人 嘱託事務 1 人 … 計 7 人
- ・神川介護相談センター：正規専任 3 人 臨時専任 1 人 … 計 4 人
- ・丸子介護相談センター：正規専任 3 人 … 計 3 人

ウ 利用者件数

(単位 件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談センター	198	199	198	201	203	208	200	203	201	196	198	200	2,405
神川介護相談センター	151	148	156	150	145	138	139	142	144	147	148	147	1,755
丸子介護相談センター	111	109	106	104	105	114	114	113	113	114	109	111	1,323
合 計	460	456	460	455	453	460	453	458	458	457	455	458	5,483

エ 認定調査状況

(単位 件) 80

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談センター	0	0	0	0	2	1	0	0	1	1	2	0	7
神川介護相談センター	3	6	5	4	3	2	3	2	3	1	2	3	37
丸子介護相談センター	3	3	2	3	3	2	4	1	3	2	4	2	32
合 計	6	9	7	7	8	5	7	3	7	4	8	5	76

オ ケアプラン作成状況

(単位 件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談センター	175	175	180	188	189	195	190	190	189	181	179	185	2,216
神川介護相談センター	143	142	146	139	136	128	129	132	134	135	136	133	1,633
丸子介護相談センター	111	106	105	104	105	110	112	110	109	112	106	106	1,296
合 計	429	423	431	431	430	433	431	432	432	428	421	424	5,145

カ 住宅改修費理由書作成にかかる事務手続状況

(単位 件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神川介護相談センター	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
丸子介護相談センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

ウ～オ経年推移

	介護相談センター			神川介護相談センター			丸子介護相談センター		
	27年	26年	25年	27年	26年	25年	27年	26年	25年
利用者件数 (件)	2,405	2,247	2,208	1,755	1,622	1,592	1,323	1,285	1,279
認定調査状況 (件)	7	18	49	37	39	41	32	45	44
ケアプラン作成状況 (件)	2,216	2,141	2,059	1,633	1,503	1,454	1,296	1,260	1,225

居宅介護支援事業の評価等

関係機関や家族との連携を図り、利用者の尊厳を尊重し、住み慣れた地域で生活が保持できるように支援してきた。信頼を得る中で、利用者数も増えている。平成 27 年に法改正が行われ、独居高齢者、認知症高齢者の加算が基本報酬に包括化されたことにより、各事業所に主任ケアマネを配置し特定事業所加算申請の対応をしてきた。

今後も質の高いケアマネジメントと利用者への円滑なサービス提供を行えるよう研修等に参加し、選ばれる事業所を目標に利用者の確保に努めたい。

3 3 児童館事業(市受託事業)

(1) 上田地区児童館

この事業は、「児童福祉法」第 40 条に規定されている児童厚生施設として、上田市が設置した 2 児童館・6 児童センターを平成 9 年度から上田市社会福祉協議会が管理運営している。

児童館・児童センターは地域の子どもたちに安心して遊べる場を提供し、いろいろな遊びや活動を通して、健康で情操豊かな子どもを育てることを目的としている。

開館時間は、平日は午後 1 時から午後 6 時まで、土曜日や長期休み等小学校の休業日は午前 9 時から午後 6 時までである。

近年、保護者の就労等で留守家庭が増えていることから、その対策として、小学校から直接来館する下校途中の利用、また平成 17 年 3 月の春休みからは、学校休業日に弁当持参での利用ができるようになっており、児童の放課後の居場所として、ますます重要度を増している。また、対応が難しい児童や特別な支援を必要としている児童の利用が増えているため、様々な研修会に参加し職員のスキルアップに努めた。

ア 地区懇談会

朝日が丘児童館	5 月 26 日 (火)	緑が丘児童館	5 月 19 日 (火)
川辺町児童センター	5 月 15 日 (金)	秋和児童センター	5 月 12 日 (火)
東塩田児童センター	5 月 20 日 (水)	大星児童センター	6 月 5 日 (金)
神科児童センター	6 月 3 日 (水)	神川児童センター	5 月 18 日 (月)

イ 研修会への参加

長野県児童館連絡協議会主催 前期研修会、東信地区研修会、北信地区研修会、中信地区研集会、教育委員会主催 放課後児童クラブスキルアップ研修会、カウンセリングマインド研修会。子育て・子育て支援課主催 支援者向け発達障がい理解と支援講演会、市民向け発達障がい講演会。長野県総合学習センター講座 2 回。救急法講習会 2 回。感染症、災害時の対応研修会。工作実習等。

ウ その他

年間を通して、季節や伝統の行事、工作や手芸、プレゼント作りなどの制作、ドッジボールや卓球、バドミントンなどの体育的活動、毎月のお話の会、囲碁将棋の会、講師によるコンサートなどを実施した。また毎月児童館だよりを発行し小学校に配布したほか、自治会にも回覧して地域の方に行事や活動への参加を呼びかけた。サマーチャレンジボランティア、スプリングチャレンジボランティア、また地域の方のボランティアや実習生の受け入れをした。

児童館利用状況

月	内 訳	朝日が丘 児童館	緑が丘児 童館	川辺町児童 センター	秋和児童 センター	東塩田児童 センター	大星児童 センター	神科児童 センター	神川児童 センター	月計
4	利用者数(人)	1,577	1,284	1,814	616	852	1,671	2,651	1,789	12,254
	開館日数(日)	25	25	25	25	25	25	25	25	200
	1日平均利用者(人)	63.1	51.4	72.6	24.6	34.1	66.8	106.0	71.6	61.3
5	利用者数(人)	1,341	985	1,899	509	853	1,753	2,450	1,670	11,460
	開館日数(日)	23	23	23	23	23	23	23	23	184
	1日平均利用者(人)	58.3	42.8	82.6	22.1	37.1	76.2	106.5	72.6	62.3
6	利用者数(人)	1,619	1,312	2,229	599	988	1,988	3,193	2,165	14,093
	開館日数(日)	26	26	26	26	26	26	26	26	208
	1日平均利用者(人)	62.3	50.5	85.7	23.0	38.0	76.5	122.8	83.3	67.8
7	利用者数(人)	1,694	1,304	1,926	723	964	1,874	2,823	2,458	13,766
	開館日数(日)	26	26	26	26	26	26	26	26	208
	1日平均利用者(人)	65.2	50.2	74.1	27.8	37.1	72.1	108.6	94.5	66.2
8	利用者数(人)	1,338	1,035	1,363	505	595	1,417	2,139	1,520	9,912
	開館日数(日)	23	23	23	23	23	23	23	23	184
	1日平均利用者(人)	58.2	45.0	59.3	22.0	25.9	61.6	93.0	66.1	53.9
9	利用者数(人)	1,167	1,002	1,730	466	715	1,654	2,482	1,802	11,018
	開館日数(日)	23	23	23	23	23	23	23	23	184
	1日平均利用者(人)	50.7	43.6	75.2	20.3	31.1	71.9	107.9	78.3	59.9
10	利用者数(人)	1,353	1,080	1,844	560	824	1,776	2,874	2,113	12,424
	開館日数(日)	26	26	26	26	26	26	26	26	208
	1日平均利用者(人)	52.0	41.5	70.9	21.5	31.7	68.3	110.5	81.3	59.7
11	利用者数(人)	1,269	1,009	1,562	444	764	1,598	2,536	1,806	10,988
	開館日数(日)	23	23	23	23	23	23	23	23	184
	1日平均利用者(人)	55.2	43.9	67.9	19.3	33.2	69.5	110.3	78.5	59.7
12	利用者数(人)	1,316	1,104	1,568	494	761	1,549	2,583	2,153	11,528
	開館日数(日)	23	23	23	23	23	23	23	23	184
	1日平均利用者(人)	57.2	48.0	68.2	21.5	33.1	67.3	112.3	93.6	62.7
1	利用者数(人)	737	561	1,262	286	574	1,262	1,763	1,266	7,711
	開館日数(日)	20	20	20	20	20	20	20	20	160
	1日平均利用者(人)	36.9	28.1	63.1	14.3	28.7	63.1	88.2	63.3	48.2
2	利用者数(人)	981	892	1,356	367	761	1,506	2,087	1,636	9,586
	開館日数(日)	24	24	24	24	24	24	24	24	192
	1日平均利用者(人)	40.9	37.2	56.5	15.3	31.7	62.8	87.0	68.2	49.9
3	利用者数(人)	1,162	1,090	1,334	653	587	1,587	2,336	1,733	10,482
	開館日数(日)	26	26	26	26	26	26	26	26	208
	1日平均利用者(人)	44.7	41.9	51.3	25.1	22.6	61.0	89.8	66.7	50.4
累 計	利用者数(人)	15,554	12,658	19,887	6,222	9,238	19,635	29,917	22,111	135,222
	開館日数(日)	288	288	288	288	288	288	288	288	2,304

	1日平均利用者(人)	54.0	44.0	69.1	21.6	32.1	68.2	103.9	76.8	58.7
平成 26年 度 累 計	利用者数(人)	13,705	13,099	19,585	6,790	11,530	15,943	28,896	15,671	125,219
	開館日数(日)	287	287	287	287	287	287	287	287	2,296
	1日平均利用者(人)	47.8	45.6	68.2	23.7	40.2	55.6	100.7	54.6	54.5
増 減	利用者数(人)	1,849	-441	302	-568	-2,292	3,692	1,021	6,440	10,003
	開館日数(日)	1	1	1	1	1	1	1	1	8
	1日平均利用者(人)	6.3	-1.7	0.8	-2.1	-8.1	12.6	3.2	22.2	4.2

(2) 丸子地区児童館

開館時間：平日（5月～10月午後3時～午後5時、11月～4月午後3時30分～午後5時30分）

長期休み：午後1時～午後5時（夏休みは午後1時30分～午後5時30分）

下丸子児童館利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数	90	61	67	67	69	64	
開館日数	21	18	22	22	19	19	
1日平均利用者	4.3	3.4	3.0	3.0	3.6	3.4	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	101	30	65	26	17	54	711人
開館日数	21	19	18	19	20	22	240日
1日平均利用者	4.8	1.6	3.6	1.4	0.9	2.5	3.0人

利用状況の推移

	利用者数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者数(人)
27年度	711	240	3.0
26年度	750	238	3.2
25年度	945	242	3.9

児童館事業の評価等

児童が期待を持って来館できるよう、運動や工作の研修を行い、楽しく取り組めるような行事や活動を実施し、児童や保護者に好評であった。利用者アンケートを実施した結果、ほとんどの方が満足しているとの回答であった。利用人数は児童館の立地条件、地域性などにより、増えている館と減っている館と差がある。

毎月1回、施設内外の安全点検を実施し、危険個所の早期対応に努め、避難訓練の実施や安全管理の研修会、救急法の講習会に参加したり、館長会議の折りにヒヤリハットを報告し対応を検討するなどし

て安全管理に努めた。

発達障がい児童は、コミュニケーションが苦手、落ち着きがない、こだわりがあるなど特徴のある児童は家庭で支援員をつけて利用しているケースも出てきた。また、個別支援の方法を学校と情報を共有化したり、研修会で学んだことを活かし、クールダウンできる環境を工夫したり、遊びのルールを徹底するなど具体的に見直し、児童館でできることを実行した。その結果、落ち着いて過ごせることが多くなった。また、下校途中の対応、地域との連携など課題と思われるケースは早期に解決し、必要に応じ、学校、保護者、児童館とで情報の共有をしたり、子育て・子育て支援課の専門機関と連絡を取りあって対応したりしたことで、児童を理解する大人が増え、協力して支援していく環境が生まれてきている。しかし、毎年現状を見直し職員の人的配置を柔軟に対応する必要性を感じる。

3 4 その他の事業

(1) 児童福祉

〈丸子地区センター〉

ア 子育て中の母親、父親を対象に、子どもの発達段階に応じて教室等を開催することにより、子育て支援を行う。

ベビーマッサージ教室	2 回開催	参加者 14 組
ベビードダンス教室	2 回開催	参加者 31 組
腹話術&マジックショー	1 回開催	参加者 19 人
親子コーチング講座	1 回開催	参加者 22 組

(2) 高齢者福祉

〈上田地区センター〉

ア 上田地域福寿クラブ連合会事務局

(ア) 高齢者クラブ数 43 単位クラブ 2,600 人

(イ) 会議、行事等

・平成 26 年度福寿クラブ会計監査	4 月 8 日 (水)
・新年度総務教養部・女性部会議	4 月 14 日 (火)
・新年度社会福祉部・保健部会議	4 月 15 日 (水)
・新年度理事会・代議員会	4 月 21 日 (火)
・表彰審査委員会	5 月 11 日 (月)
・県老連東信地区ブロック研修会	6 月 3 日 (水)
・第 31 回福寿クラブ定期大会	6 月 12 日 (金)
・第 23 回シルバースポーツ大会	6 月 19 日 (金)

- ・福寿クラブ指導者研修会 6月26日(金)
- ・長野県老連主催女性指導者研修会 7月23日(木)
- ・ファミリースポーツ大会 8月9日(日)
- ・福寿クラブ理事会 8月26日(水)
- ・紙おむつ配布 9月8日(火)、10日(木)
- ・第23回福寿クラブゲートボール大会 9月9日(水)
- ・福寿だより編集委員会 9月30日(水)
- ・人権を考える市民のつどい 10月1日(木)
- ・第37回うえだ市民ふれあい広場 10月3日(土)
- ・岐阜県中津川市老連との交流会 10月6日(火)、7日(水)
- ・赤い羽根共同募金運動参加 10月9日(金)
- ・福寿だより編集委員会 10月13日(火)
- ・第56回長野県老人クラブ大会 10月15日(木)
- ・福寿だより編集委員会 10月20日(火)
- ・第17回福寿クラブマレットゴルフ大会 10月23日(金)
- ・人権啓発担当者研修会 10月31日(土)
- ・福寿だより第72号発行 11月1日(日)
- ・市高齢者クラブマレットゴルフ大会 11月5日(木)
- ・男性料理教室補助員事前講習会 11月24日(火)
- ・男性料理教室(市内公民館7か所開催) 11月27日(金)～12月8日(火)
- ・福寿クラブ正副会長会 12月9日(水)
- ・市長表敬訪問 1月5日(火)
- ・上田市高連正副会長会 1月5日(火)
- ・シルバースポーツ教室 1月27日(水)～2月8日(月)
- ・福寿だより編集委員会 2月3日(水)
- ・福寿クラブ理事会 2月16日(火)
- ・福寿だより編集委員会 2月17日(水)
- ・福寿だより編集委員会 2月23日(火)
- ・福寿だより73号発行 3月1日(火)
- ・ファミリースポーツ大会 3月27日(日)
- ・金婚祝賀事業 通年事業 22組
- ・初級、中級パソコン教室の実施

】 <丸子地区センター>

ア いきいきフェスティバル

身近な地域において支えあい、ともに生きる社会の実現に向け皆で考え、実践することを目的として、丸子地域高齢者クラブ連合会、丸子地域健康推進委員会、丸子ボランティア連絡協議会との実行委員会形式により、市の慶祝行事と併せて開催する。

6月26日（金）、27日（土） 丸子文化会館 参加者 735人

記念写真（喜寿、米寿、白寿、長寿、金婚） 86組

イ 丸子地域高齢者クラブ連合会事務局

（ア）高齢者クラブ数 33 単位クラブ 1,544人

（イ）会議、行事等

- ・理事会、会計監査 4月14日（火）
- ・丸子地域高齢者クラブ連合会総会 4月24日（木）
- ・県老連東信地区ブロック研修会 6月3日（水）
- ・理事会 6月18日（木）
- ・会長会（高齢者の交通安全及び特殊詐欺講話） 6月18日（木）
- ・いきいきフェスティバル（シルバー作品展） 6月26日（金）～27日（土）
- ・県老連東信地区女性指導者研修会 7月23日（木）
- ・理事会 9月14日（月）
- ・第20回丸子地域シルバースポーツ大会 9月28日（月）
- ・人権を考える市民のつどい 10月1日（木）
- ・第56回長野県老人クラブ大会 10月15日（木）
- ・上田市高齢者クラブ連合会マレットゴルフ大会 11月5日（木）
- ・視察研修会（新潟県南魚沼市） 11月17日（火）、18日（水）
- ・冬季スポーツ交流会（全7回） 12月8日（火）、1月25日（木）
1月26日（火）、2月22日（月）
2月23日（火）、3月7日（月）
3月8日（火）
- ・東信地区リーダー研修会 3月9日（月）～10日（火）
- ・理事会 2月4日（木）、5日（金）
- ・まるこ高連だより（年3回発行） 3月18日（金）

（ウ）丸子赤十字奉仕団

- ・施設・病院ボランティア
ベルポートまるこ 月1回のお茶、散歩介助などのボランティア活動
夏祭りボランティア

鹿教湯病院 病院祭の介助ボランティア

- ・鹿教湯病院祭にてボランティア活動 6月13日(土)
- ・いきいきフェスティバル2015 6月27日(土)
- ・丸子地区赤十字奉仕団視察研修会 7月23日(木)
日本赤十字社長野県支部及び歴史資料館視察
- ・上田市防災訓練 丸子北小学校において炊き出し訓練 8月29日(土)
ハイゼックス包装食袋にて提供(雨天中止)
- ・一円玉募金運動 11月～12月

<真田地区センター>

ア 一人暮らし老人親睦会の開催

- ・役員会 5月13日(水) 一年間の計画を策定 参加者8人 真田老人センター
- ・親睦会 7月8日(水) 成沢秀敏さんによる演歌体操 参加者36人
- ・ふれあいの旅 11月18日(水)「びんぐし湯さん館」坂城町 参加者33人
- ・交流会 3月8日(火) ハーモニカなかよしクラブさんによる歌と演奏
参加者43人 真田老人センター

イ 真田地域長寿会事務局

(ア) 高齢者クラブ数 21 単位クラブ

(イ) 会議、行事等

- ・第14回新緑ゲートボール大会 4月21日(火)
- ・第56回 総会 5月14日(木)
- ・東信地区市町村老人クラブブロック研修会 6月3日(水)
- ・第35回長寿会長杯ゲートボール大会 6月16日(火)
- ・第66回マレットゴルフ大会 6月23日(火)
- ・女性指導者研修会 7月23日(木)
- ・女性部長会(伝達講習会含) 8月3日(月)
- ・第67回マレットゴルフ大会 8月4日(火)
- ・金婚祝いお届け 9月11日(金)
- ・ふれあい広場に参画 9月12日(土)
- ・第38回体育祭 10月1日(木)
- ・第34回さわやかゲートボール大会 10月6日(火)
- ・第68回マレットゴルフ大会 10月13日(火)
- ・長野県老人クラブ大会 10月15日(木)
- ・にこにこ健康教室 10月22日(木)
- ・上田市高齢者クラブ連合会マレットゴルフ大会 11月5日(木)
- ・視察研修旅行 石川県能登地方 11月9日(月)、10日(火)
- ・消費生活展参加 11月14日(土)
- ・東信地区リーダー研修会 3月9日～3月10日
- ・第6回高齢者の健康を考えるつどい 3月4日(金)
講演会 「寝たきを半分減らす」
講師 長野市大岡診療所長 内場 廉 氏 参加者130人

- ・他役員会、理事、監事、地域長寿会、女性部長会 7回開催
- ・伝承広場の開催
 - 5月29日（金）菅平小学校、7月14日（火）本原小学校
 - 9月24日（木）傍陽小学校、10月9日（金）長小学校

〈武石地区センター〉

ア 高齢者サロン事業

高齢者サロン（楽しい会）を4月から22回（内、介護予防体操を11回含む）、延べ1,231人参加した。また、ボランティアメンバーの方も参加願ひ地域住民の交流の場を作ることができた。

イ 高齢者弁当宅配事業

民生児童委員の協力を得て75歳以上の一人暮らしの方を対象に季節感のあふれる弁当を配ることで一人暮らしの中に生活の楽しさを味わってもらうことを目的に実施

実施日 12月17日（木）

配食数 102食

利用料 無料

ウ 敬老会

武石地域全体で75歳以上の方を対象として、社会への貢献に感謝し長寿を祝い今後の健勝を願って実施

日 時 9月12日（土）

会 場 武石公民館

出席者 250人

エ 武石高齢者クラブ連合会事務局

- ・地区高齢者クラブ数 14クラブ 会員620人
- ・老人センター寿楽荘庭手入れ 6月18日（木）9月17日（木）120人
- ・女性部指導者研修会 7月23日（木）1人
- ・マレットゴルフ大会 5月29日（金）・8月27日（木）延べ121人
- ・県大会 10月15日（木）2人
- ・保育園児との交流 6月3日（水）・11月6日（金）延べ27人
- ・上田市マレットゴルフ大会 11月5日（木）15人
- ・ニュースポーツ大会 6月18日（木）・2月3日（木）延べ84人
- ・研修会 11月11日（水）・20日（木）15人
- ・高齢者福祉施設の洗濯物たたみ（女性部） 5月～10月 12回 延べ36人

オ 一人暮らし老人もみじ会事務局

- ・春の研修会 7月8日（水）、9日（木）
- ・秋の研修会 11月6日（金）、7日（土）

(3) 障がい者福祉

ア 車いす貸出し事業

介護保険の福祉用具貸与対象外の高齢者、障がい者等が通院、外出等で必要な場合、1か月をめぐりに無料で貸出した。

地区		上田	丸子	真田	武石
貸出件数	27年度	192件	53件	36件	9件
	26年度	191件	55件	27件	7件
利用者数	27年度	192人	53人	36人	7人
	26年度	191人	55人	27人	7人
保有台数		30台	26台	20台	11台

イ 特殊寝台貸与事業

介護保険の福祉用具貸与対象外の高齢者、障がい者等が一時的に日常生活を営むことが困難になった場合、3か月をめぐりに無料で貸出した。

地区		上田	丸子	真田	武石
貸出件数	27年度	4件	1件	1件	1件
	26年度	2件	2件	1件	3件
保有台数		4台	2台	1台	4台

<上田地区センター>

ア 上小圏域障害者総合支援センターとの協力と連携

- ・上小地域障害者自立生活支援センター「ウィング」
- ・上小地域就業・生活支援センター「シェイク」
- ・地域活動支援センター「やすらぎ」

イ NPO 法人上田市身体障害者福祉協会等、障がい者団体への協力援助と連携

<真田地区センター>

ア 真田町身体障害者福祉協会事務局

- ・総会 4月15日(水)
- ・第41回上小地区障がい者スポーツ大会 5月23日(土)
- ・視察研修(立科町) 7月5日(日)、6日(月)
- ・第15回長野県障がい者スポーツ大会 8月28日(木)

<武石区センター>

ア 武石身体障害者福祉協会事務局

- ・第41回上小地区障害者スポーツ大会 5月23日(土)
- ・研修会 7月8日(水)、9日(木)
- ・障害者等団体懇談会 10月1日(金)

(4) 団体事業の育成

各種福祉団体事業を推進するため、協力費として活動費を助成し、団体育成に努めた。

上田地区 活動費助成団体

団体名	助成金額	団体名	助成金額
うえだ市民ふれあい広場実行委員会	150,000 円	上田市聴覚障害者協会	100,000 円
上田市子ども会育成連絡協議会	100,000 円	上田地区更生保護女性会	250,000 円
上田市視覚障害者福祉協会	100,000 円	上田地区保護司会	120,000 円
上田市肢体不自由児・者父母の会	100,000 円	上田市赤十字奉仕団	100,000 円
NPO法人上田市身体障害者福祉協会	280,000 円	絵手紙サークルひまわり	50,000 円
上田市手をつなぐ育成会	100,000 円	上小手話サークル	130,000 円
上田ボランティア連絡協議会	150,000 円	モチーフの会	70,000 円
上田地域福寿クラブ連合会	300,000 円	点訳サークルでんでん虫の会	30,000 円
豊殿地区循環バス運営委員会	300,000 円	上田明照会 甘露保育園	56,000 円
上田市学童保育連絡協議会	100,000 円	NPO 法人子育て応援団ばれっと	210,000 円
シルバーバックの会	100,000 円	チャイルドラインうえだ運営委員会	200,000 円
		合計 22 団体	3,096,000 円

丸子地区 活動費助成団体

丸子地域高齢者クラブ連合会	300,000 円	丸子ボランティア連絡協議会	150,000 円
上田市丸子身体障害者福祉協会	300,000 円	傾聴ボランティア・まるこ	80,000 円
丸子モチーフの会	50,000 円	丸子地域食生活改善推進協議会	30,000 円
E キャップの会	30,000 円	合計 7 団体	940,000 円

真田地区 活動費助成団体

真田地域長寿会	30,000 円	障害のある人達の家族の会	23,000 円
NPO法人野辺を渡る風のように	20,000 円	真田町身体障害者福祉協会	80,000 円
おもちゃ図書館くるくるさなだ	30,000 円	託児グループ子育てまりの会	10,000 円
ふれあい広場実行委員会	50,000 円	信州真田六文銭太鼓	20,000 円
たまたま箱 (パネルシアター)	20,000 円	真田地域赤十字奉仕団	40,000 円
ミミールの会 (民話紙芝居)	20,000 円	大福会 (茶道普及の会)	15,000 円
おとぎの会 (朗読の会)	20,000 円	真田地域ボランティア連絡協議会	100,000 円
真田地域食生活改善推進協議会	30,000 円		
		合計 15 団体	508,000 円

武石地区 活動費助成団体

武石地域高齢者クラブ連合会	191,000 円	武石身体障害者福祉協会	47,000 円
もみじ会 (1人暮らし老人の会)	95,000 円	ボランティア連絡協議会	19,000 円
		合計 4 団体	352,000 円

(5) その他

○シルバー人材センターとの連携

- ・ 総会 5月22日(金)
- ・ 理事会 7月24日(金)、8月26日(水)、
9月30日(水)、10月26日(月)、11月25日(水)、12月24日(木)、
1月26日(火)、2月24日(水)、3月24日(木)

○遺族会事務局

- ・ 役員総会 4月 9日(木)
- ・ 靖国神社参拝 4月23日(木)、24日(金)
- ・ 全国戦没者追悼式 8月15日(土)
- ・ 長野県護国神社参拝 10月 9日(金)
- ・ 第63回長野県遺族大会 10月22日(木)
- ・ 平成27年度長野県戦没者追悼式 10月23日(金)
- ・ 上田市戦没者遺族大会・追悼式 11月10日(木)